

# Oracle® Hardware Management Pack イン ストールガイド

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS. Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

# 目次

---

ドキュメントとフィードバック .....	5
このドキュメントについて .....	5
変更履歴 .....	6
Oracle Hardware Management Pack インストールガイドの概要 .....	7
Oracle Hardware Management Pack の概要 .....	9
Oracle Server Management Agents .....	10
Oracle Server CLI ツール .....	12
IPMItool .....	12
IPMIflash .....	12
ホストと ILOM の相互接続 .....	13
ホストと ILOM の相互接続の有効化 .....	15
Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用したコンポーネントのインストール .....	19
はじめに .....	20
ソフトウェアの入手 .....	20
前提条件 .....	21
インストールに関する問題 .....	22
Hardware Management Pack コンポーネントのインストール .....	24
コンポーネントの手動インストール .....	49
Oracle Solaris サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール .....	49
Linux サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール .....	56
Windows サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール .....	61
ドライバの手動インストール .....	65
Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール .....	65
ホストと ILOM の相互接続ドライバのインストール .....	68
ソフトウェアの依存関係 .....	71

コンポーネントパッケージの依存関係 .....	71
索引 .....	77

# このドキュメントの使用方法

---

このセクションでは、製品情報、ドキュメントとフィードバック、およびドキュメントの変更履歴を示します。

- 5 ページの「ドキュメントとフィードバック」
- 5 ページの「このドキュメントについて」
- 6 ページの「変更履歴」

## ドキュメントとフィードバック

Oracle Hardware Management Pack の関連ドキュメントには次のようなものがあります。

ドキュメント	リンク
すべての Oracle 製品	<a href="http://www.oracle.com/documentation">http://www.oracle.com/documentation</a>
Oracle Hardware Management Pack	<a href="http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ohmp">http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=ohmp</a>
Oracle ILOM	<a href="http://www.oracle.com/goto/ILOM/docs">http://www.oracle.com/goto/ILOM/docs</a>

このドキュメントについてのフィードバックは次からお寄せください。

<http://www.oracle.com/goto/docfeedback>。

## このドキュメントについて

このドキュメントは、PDF と HTML の両形式で利用でき、ソフトウェアバージョン 2.2.x に関連しています。ソフトウェアバージョンの間の相違が言及されています。トピックに基づく形式 (オンラインヘルプと同様) で情報が表示されるため、章、付録、およびセクション番号は含まれません。

特定のトピック (ハードウェア設置やプロダクトノートなど) に関するすべての情報が含まれる PDF を取得するには、ページの左上にある PDF ボタンをクリックします。

## 変更履歴

このドキュメントセットには次の変更が加えられています。

- 2010年9月、初版発行。
- 2011年1月、『インストールガイド』および『Management Agent ユーザーズガイド』を改訂。
- 2011年7月、ドキュメント URL を改訂。
- 2011年9月、ソフトウェアバージョン 2.2 に合わせて改訂。グラフィックインストーラの変更点を記載。
- 2011年11月、Oracle Solaris OS 11 のインストールに関連する情報とインストールの前提条件に関連する情報を統合するために改訂。
- 2012年1月、バージョン 2.2.1 に対する変更点、Emulex および QLogic ファイバチャネルコントローラのサポート、および新しいパッケージ名を反映して、ソフトウェアパッケージのすべての依存関係を説明するために改訂。
- 2012年3月、Mellanox InfiniBand のサポートなど、バージョン 2.2、2.2.1、および 2.2.2 のすべてのパッケージの内容を含めるために改訂。
- 2013年2月、インストール中の ILOM トラッププロキシの構成、ホストと ILOM の相互接続の正しい用語、Windows へのセキュリティー証明書のインストールに関する情報、ubiosconfig のプラットフォームサポートの改善など、バージョン 2.2.5 の変更点を含めるために改訂。
- 2013年4月、Windows への itpconfig のインストール、Oracle Solaris 10 および Linux の依存関係での手動による構成手順の改善など、バージョン 2.2.6 の変更点を含めるために改訂。
- 2013年7月、グラフィックインストーラを使用した Oracle Solaris 11 OS へのインストール、Oracle VM のサポート、Linux の依存関係の名前変更など、バージョン 2.2.7 の変更点を含めるために改訂。

# Oracle Hardware Management Pack インストールガイドの概要

---

次の表に、このドキュメントの内容を示します。

説明	リンク
Oracle Hardware Management Pack の概要	<a href="#">9 ページの「Oracle Hardware Management Pack の概要」</a>
ホストと ILOM の相互接続を有効にする	<a href="#">15 ページの「ホストと ILOM の相互接続の有効化」</a>
Oracle Hardware Management インストーラを使用して Oracle Hardware Management Pack コンポーネントをインストールする	<a href="#">19 ページの「Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用したコンポーネントのインストール」</a>
オペレーティングシステムに固有のコマンドを使用して Oracle Hardware Management Pack コンポーネントをインストールする。	<a href="#">49 ページの「コンポーネントの手動インストール」</a>
Oracle Hardware Management Pack コンポーネントを有効にするために必要なドライバをインストールする。	<a href="#">65 ページの「ドライバの手動インストール」</a>

---





# Oracle Hardware Management Pack の概要

---

このセクションでは、Oracle Hardware Management Pack コンポーネントの概要および Oracle サーバーでの使用方法について説明します。

Oracle Hardware Management Pack (Hardware Management Pack) は、Oracle サーバーの管理および構成に役立つツールを提供します。Hardware Management Pack は、サーバーにインストールするコンポーネントで構成されています。これらのコンポーネントでは、次のことが可能です。

- オペレーティングシステムレベルで管理エージェントを使用すると、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) を介した Oracle ハードウェアの帯域内モニタリングが可能になります。この情報を使用して、Oracle サーバーをデータセンター管理インフラストラクチャーに統合できます。
- コマンド行ツールを使用して、サーバーで BIOS、UEFI BIOS、RAID ボリューム、および Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) サービスプロセッサを構成します。
- コマンド行ツールを使用して、サーバーコンポーネントのファームウェアをアップグレードします。
- コマンド行ツールを使用して、ハードウェア構成情報と Oracle サーバーのステータスを表示します。
- コマンド行ツールを使用して、ホストと ILOM の相互接続を介して SNMP トラップを Oracle ILOM サービスプロセッサから転送する ILOM トラッププロキシを構成します。
- コマンド行ツールを使用して、Oracle Solaris オペレーティングシステムが稼働するサポート対象サーバーでゾーン作成を構成します。
- IPMItool を使用して、IPMI プロトコルを使用してサーバーサービスプロセッサにアクセスし、管理タスクを実行します。

このガイドでは、Hardware Management Pack コンポーネントの概要およびインストール方法について説明します。Hardware Management Pack コンポーネントの構成および使用方法の詳細については、次を参照してください。

- [『Oracle Server Management Agents ユーザーズガイド』](#)
- [『Oracle Server CLI ツール ユーザーズガイド』](#)

Hardware Management Pack の機能についての詳細は、次を参照してください。

- 10 ページの「Oracle Server Management Agents」
- 12 ページの「Oracle Server CLI ツール」
- 12 ページの「IPMItool」
- 12 ページの「IPMIflash」
- 13 ページの「ホストと ILOM の相互接続」

## Oracle Server Management Agents

Oracle Server Management Agents は、オペレーティングシステム固有のエージェントを提供して、Oracle サーバーの管理と構成を可能にします。

Oracle Server Management Agents が提供するソフトウェアは次のとおりです。

- Oracle Server Hardware Management Agent
- Oracle Server Hardware SNMP Plugins
- `itpconfig`。Oracle ILOM サービスプロセッサによって生成されたトラップを、ホストと ILOM の相互接続を介して転送できます。

### Oracle Server Hardware Management Agent

Oracle Server Hardware Management Agent (Hardware Management Agent) および関連する Oracle Server Hardware SNMP Plugins (Hardware SNMP Plugins) は、オペレーティングシステムのネイティブエージェントを使用して、サーバーとサーバーモジュールのハードウェアをモニターおよび管理する方法を提供します。この帯域内機能では、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) サービスプロセッサの管理ポートをネットワークに接続することなく、サーバーとブレードサーバーモジュールのモニタリングに単一の IP アドレス (ホストの IP) を使用できます。

Hardware Management Agent および Hardware SNMP Plugins は、Oracle サーバーのホストオペレーティングシステム上で稼働して、Oracle ILOM サービスプロセッサと通信します。`hwmgmtd` という Hardware Management Agent デモンは、サーバーの現在の状態に関する情報を取り込むためにサービスプロセッサを定期的にポーリングします。Hardware Management Agent は、キーボードコントローラスタイル (KCS) インタフェースまたはホストと ILOM の相互接続のいずれかを介して、サービスプロセッサにハードウェア情報をポーリングできます。この情報は、Hardware Management Agent が Hardware SNMP Plugins を介して提供します。

また、Hardware Management Agent では、サービスプロセッサに格納されているシステムイベントログ (SEL) レコードを読み取って、センサーとインジケータの読み取り値を提供します。SEL は、しきい値を超過した温度などのハードウェアイベントを記録するために使用されます。Hardware Management Agent は、サービスプロセッサの SEL レコードおよびホストオペレーティングシステムの `syslog` を読み取り、OS ネイティブの SNMP デモンを使用して適切な SNMP トラップを送信します。最終的に、Hardware Management Agent も Hardware Management Agent のステータスに関する情報を含む別個のログを維持するため、トラブルシューティングに使用できます。

---

注 - 以前のバージョンの Hardware Management Pack には独立した Storage Management Agent が含まれていましたが、Oracle Hardware Management Pack 2.1 以降、Storage Management Agent は Hardware Management Agent の機能と統合されました。

---

## Oracle Server Hardware SNMP Plugins

Oracle Server Hardware SNMP Plugins は、Net-SNMP プラグインで構成されます。このプラグインは、Oracle サーバーを効果的にモニターできるように設計されたハードウェア固有の管理情報ベース (MIB) のコンパイルされたバージョンです。

sunHwMonMIB は、サーバー上のセンサーとアラームの状態を示し、次の情報を提供します。

- システム全体のアラームのステータス
- デバイスタイプごとの集合アラームのステータス
- FRU アラームのステータス
- センサー、センサーの種類、センサーの読み取り値、およびセンサーのしきい値のリスト
- インジケータの状態
- システムロケータ制御
- 基本製造情報を含むインベントリ
- 製品およびシャーシのインベントリ情報 (シリアル番号やパーツ番号など)
- 各センサーのアラームのステータス

sunHwTrapMIB は、Oracle サーバーで生成される可能性があるハードウェアイベントのトラップ一式を示します。ここでは、次の情報について説明します。

- サーバーの環境状態に影響を与える状態 (温度、電圧、現在の範囲外状態など)
- サーバーのハードウェアコンポーネントに影響を与えるエラー状況 (FRU の挿入や取り外し、セキュリティー侵入通知など)

sunStorageMIB は、システムストレージに関する次の情報を提供します。

- 基本製造情報、プロパティ、コントローラのアラームのステータス
- ディスクのプロパティとアラームのステータス
- RAID ボリュームのプロパティとアラームのステータス
- 論理コンポーネントのステータス

## itpconfig

itpconfig ツールを使用すると、ホストと ILOM の相互接続を介してトラップを Oracle ILOM ベースのサービスプロセッサから送信して、構成可能な宛先にホスト

サーバーからトラップを転送するようトラッププロキシを構成できます。また、itpconfig では、最新の Oracle サーバーで使用可能なホストと ILOM の相互接続を有効または無効にできます。

## Oracle Server CLI ツール

Oracle Server CLI ツール (CLI ツール) は、Oracle サーバーを構成するコマンド行インタフェースツールです。CLI ツールは次で構成されます。

- BIOSconfig では、前の世代のサーバーで検出されたサーバーの BIOS 設定を構成できます。
- FWupdate では、サーバーコンポーネントのファームウェアをアップグレードできます。
- HWmgmtcli では、ハードウェア構成情報と Oracle サーバーのステータスを表示できます。
- ILOMconfig では、Oracle ILOM を構成して、さらにホストと ILOM の相互接続設定を構成できます。
- RAIDconfig では、サーバーで RAID ボリュームを構成できます。
- UBIOSconfig では、最新の Oracle サーバーで検出されたサーバーの UEFI BIOS を構成できます。
- ZoningCLI では、16 ディスクバックプレーン (SAS-2 エクスパンダ) を搭載した Oracle SPARC T3-1 プラットフォームを、2つのゾーンに分割して Oracle Solaris OS を実行するように構成できます。

## IPMItool

IPMItool は、IPMI プロトコルをサポートするデバイスの管理および構成を行うことができるコマンド行アプリケーションです。IPMItool の1つのバージョンが、Hardware Management Pack の一部として提供されます。システムに IPMItool がまだインストールされていない場合は、インストールできます。IPMItool の詳細は、<http://ipmitool.sourceforge.net/> を参照してください。

## IPMIflash

IPMIflash は、Oracle ILOM サービスプロセッサファームウェアおよび BIOS を管理ネットワーク経由でリモートで更新するか、サーバーからローカルで更新するための代替方法を提供するコマンド行アプリケーションです。IPMIflash の1つのバージョンが、Hardware Management Pack の一部として提供されます。システムに IPMIflash がまだインストールされていない場合は、インストールできます。この

ユーティリティーは、Oracle Solaris、Linux ベース、および Windows オペレーティングシステムで使用できます。IPMIflash ユーティリティーを使用した Oracle ILOM ファームウェアの更新の詳細情報と手順については、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.1 SNMP および IPMI の手順ガイドを参照してください。

## ホストと ILOM の相互接続

ホストと ILOM の相互接続は、最新の Oracle サーバーでの新機能であり、Oracle ILOM サービスプロセッサとホストサーバー間の高速な内部相互接続を提供します。これは、Management Pack バージョン 2.1 以降でサポートされます。

詳細は、[15 ページの「ホストと ILOM の相互接続の有効化」](#)を参照してください。



# ホストと ILOM の相互接続の有効化

---

Oracle ILOM 3.0.12 以降、ホストと ILOM の相互接続と呼ばれる通信チャンネルが追加され、サーバーへのネットワーク管理接続 (NET MGT) を使用せずにホストオペレーティングシステム (OS) が Oracle ILOM とローカルに通信することが可能になりました。ホストと ILOM の相互接続は最新の Oracle サーバーで使用可能であり、次の Oracle ILOM タスクをローカルに実行するときに特に役立ちます。

- 通常はサーバーのネットワーク管理 (NET MGT) 接続を通じてコマンド行インタフェース、Web インタフェース、または IPMI インタフェースから実行する、Oracle ILOM のすべてのサーバー管理機能。
- 通常はホストから IPMI フラッシュツールを使用してキーボードコントローラスタイル (KCS) インタフェース上で実行する、Oracle ILOM へのファームウェアアップグレードなどのすべてのデータ転送。このようなタイプのサーバー管理環境では、ホストと ILOM の相互接続を使用すると、従来の KCS インタフェースを使用する場合よりも信頼性を高めることができ、データ転送速度も上がる可能性があります。
- サーバーにインストールされた Oracle 対応のソフトウェアツールおよびエージェントを使用して通常はホストオペレーティングシステムから実行する、今後のすべてのサーバーモニタリング操作と障害検出操作。

---

注 - Oracle Hardware Management Pack では、この機能は「ホストと ILOM の相互接続」と呼ばれます。Oracle ILOM インタフェースでは、この機能は「ローカルホスト相互接続」と呼ばれます。

---

## ホストと ILOM の相互接続を通じたプラットフォームサーバーサポートと ILOM アクセス

ホストと ILOM の相互接続をサポートする Oracle サーバーは、内蔵 LAN-over-USB デバイスがインストールされた状態で提供されます。

ホストと ILOM の相互接続は、Oracle ILOM サービスプロセッサ (SP) 接続ポイントおよびホストオペレーティングシステム (OS) 接続ポイントと呼ばれる 2 つのネットワーク接続ポイントを提供します。ホストと ILOM の相互接続が機能するためには、ルーティングの宛先とならない IPv4 アドレスがそれぞれに必要なで

す。ルーティングの宛先とならない IPv4 アドレスは、外部のインターネットユーザーがシステムに移動するのを防ぐセキュリティ保護されたプライベートアドレスと考えられています。

---

注- デフォルトで、Oracle は各接続ポイント (Oracle ILOM SP およびホスト OS) にルーティングの宛先とならない IPv4 アドレスを提供します。Oracle では、提供されたルーティングの宛先とならない IPv4 アドレスがネットワーク環境で競合しないかぎり、これらのアドレスを変更しないことを推奨します。

---

## ホストと ILOM の相互接続の構成オプション

ホストと ILOM の相互接続を自動的に構成するか、手動で構成するかを選択できます。これら両方の構成オプションについての詳細を次に示します。

### ■ 自動構成 (推奨)

Oracle Hardware Management Pack 2.1 (以降) でホストと ILOM の相互接続の接続ポイントを自動的に構成するには、Oracle ILOM のローカル相互接続の設定が「Host Managed」状態である必要があります。ホストと ILOM の相互接続の接続ポイントを自動的に構成するには、次の作業を行う必要があります。

1. Hardware Management Pack をインストールする前に、ローカルホスト相互接続用に Oracle ILOM で提供されるデフォルト設定を受け入れます。
2. Oracle Hardware Management Pack 2.1 以降をサーバーにインストールし、ホストと ILOM の相互接続用に提供されるインストールのデフォルト設定を受け入れます。

### ■ 手動構成 (上級ユーザーのみ)

上級のネットワーク管理者がホストと ILOM の相互接続の自動的な構成を希望しない場合は、Oracle ILOM SP およびホストオペレーティングシステムで接続ポイントを手動で構成できます。ホストと ILOM の相互接続の接続ポイントを手動で構成するには、次の作業を行う必要があります。

- オペレーティングシステムが、Ethernet を必要とする内蔵 LAN-over-USB デバイスを認識することを確認します。ドライバのインストール手順については、68 ページの「ホストと ILOM の相互接続ドライバのインストール」を参照してください。
- 接続ポイントの IPv4 アドレスを手動で構成する必要があります。これを行うには、次の 2 とおりの方法があります。
  - itpconfig ツールまたは ilomconfig ツールを使用して、Oracle ILOM サービスプロセッサおよびホスト OS でホストと ILOM の相互接続の接続ポイントを構成します。
  - Oracle ILOM インタフェースを使用して、Oracle ILOM サービスプロセッサの接続ポイントを構成し、別途ホスト側の接続ポイントを構成します。



詳細は、<http://www.oracle.com/goto/ILOM/docs>にある Oracle Integrated Lights Out Manager ドキュメントコレクションを参照してください。



# Oracle Hardware Management Pack インス トーラを使用したコンポーネントのイン

ストール

---

このセクションでは、付属の Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用して、Oracle サーバーに Hardware Management Pack コンポーネントをインストールおよびアンインストールする方法について説明します。このセクションでは、次の項目について説明します。

- 20 ページの「はじめに」
- 20 ページの「ソフトウェアの入手」
- 21 ページの「前提条件」
- 22 ページの「インストールに関する問題」
- 24 ページの「Hardware Management Pack コンポーネントのインストール」

## はじめに

Hardware Management Pack コンポーネントは、次の方法でインストールできます。

- GUI モード
- コンソールモード
- サイレントモード

どのインストール方法を選択した場合でも、Oracle Solaris OS または Linux ベースのオペレーティングシステムの場合は root、Microsoft Windows の場合は Administrator のように、管理者権限を持つユーザーとしてインストールを実行する必要があります。

## ソフトウェアの入手

作業を開始する前に、ターゲットサーバーとオペレーティングシステムがサポートされていることを確認します。サポートされるサーバーの詳細は、次を参照してください。

<http://www.oracle.com/goto/ohmp>

この手順では、My Oracle Support を使用してサーバーのファームウェアとソフトウェアをダウンロードする方法について説明します。

### ▼ My Oracle Support を使用したファームウェアとソフトウェアのダウンロード

- 1 次のサイトにアクセスします。  
<http://support.oracle.com>
- 2 My Oracle Support にサインインします。

- 3 ページ上部にある「パッチと更新版」タブをクリックします。  
「パッチと更新版」画面が表示されます。
- 4 「検索」画面で、「製品またはファミリー(拡張検索)」をクリックします。  
画面に検索フィールドが表示されます。
- 5 対象製品のフィールドで、製品名の全体または一部を入力し、一致する名前のリストが表示されたら該当する製品を選択します。
  - 最新の **Hardware Management Pack** を検索するには、「**Hardware Management Pack**」と入力します。
  - 特定のサーバー用のファームウェアを検索するには、製品名 (**Sun Server X2-8** など) を入力します。
- 6 「リリース」フィールドで、ドロップダウンリストからソフトウェアリリースを選択します。  
入手可能なすべてのソフトウェアリリースを表示するには、フォルダを展開します。
- 7 「検索」をクリックします。  
ソフトウェアリリースは、ダウンロード(パッチ)のセットで構成されます。
- 8 パッチを選択するには、パッチ名の横にあるチェックボックスのチェックマークを付けます(複数のパッチを選択可能)。  
ポップアップアクションパネルが表示されます。このパネルには複数のアクションのオプションが表示されます。
- 9 パッチをダウンロードするには、ポップアップパネルの「ダウンロード」をクリックします。  
自動的にダウンロードが開始されます。

## 前提条件

以前のバージョンの Hardware Management Pack または Component Manager がインストールされている場合は、Oracle Hardware Management Pack コンポーネントをインストールする前にそれらを削除する必要があります。詳細は、インストールされているバージョンの Hardware Management Pack に付属のドキュメントを参照してください。

サポートされる Hardware Management Pack コンポーネントはサーバーやオペレーティングシステムによって異なるため、インストールするすべてのコンポーネントがターゲットのプラットフォームをサポートしていることを確認してください。次に進む前に、インストールするバージョンのサポート表を必ず確認しておいてください。サポート表は次で入手可能です。

<http://www.oracle.com/goto/ohmp>

ターゲットサーバーのオペレーティングシステムによって、次に示す注意事項があります。

- Oracle Solaris オペレーティングシステム - Oracle Server Hardware SNMP Plugins が正しく機能するためには、System Management Agent (SMA) が必要です。Oracle Solaris OS にはデフォルトで SMA がインストールされています。SMA の詳細は、`snmpd(1M)` を参照してください。Hardware Management Pack コンポーネントのインストールは、大域ゾーンで実行する必要があります。Oracle Solaris 10 では、`biosconfig` は大域ゾーンのみでインストールできます。Hardware Management Agent が正しく機能するためには、システムにデバイス `/dev/bmc` が存在している必要があります。
- Linux ベースのオペレーティングシステム - Oracle Server Hardware SNMP Plugins が正しく機能するためには、Net-SNMP がインストールされている必要があります。Net-SNMP の詳細は、`snmpd` のドキュメントを参照してください。Hardware Management Agent が正しく機能するためには、システムにデバイス `/dev/ipmi#` (ここで、# は 1 つの数字) が存在している必要があります。また、Oracle サーバースerviceプロセッサとホストオペレーティングシステム間の IPMI インタフェースが有効になっていること、および IPMI サービスが起動していることを確認する必要があります。Hardware Management Agent が正しく機能するためには、Hardware Management Agent の使用時に、root ユーザーが IPMI デバイスに対して読み取り/書き込みアクセス権限を持つ必要があります。
- Windows オペレーティングシステム - Oracle Server Hardware SNMP Plugins が正しく機能するためには、IPMI デバイスがインストールされ、SNMP サービスが有効になっている必要があります。使用している Windows のバージョンで利用可能な IPMI デバイスについての詳細は、使用している Windows 製品ドキュメントを参照してください。

## インストールに関する問題

Hardware Management Pack のインストールを実行する前に、次の注意点を確認してください。

---

注 - Oracle Hardware Management Pack リリースノートに、インストールに関する問題が追加で記載されている可能性があります。Hardware Management Pack をインストールする前に、次の問題点に加え、リリースノートを確認してください。

---

### Unix インストーラの問題 (CR 6977584)

Oracle Solaris OS または Linux オペレーティングシステムが稼働しているサーバーで DISPLAY 変数が設定されていると、インストーラは異常終了します。この問題を回避するには、Hardware Management Pack をインストールする前に DISPLAY 変数の設定を解除します。

### Solaris システムでインストーラを起動する際にエラーが報告される (CR 6982393)

Oracle Solaris OS システムで Oracle Hardware Management Pack インストーラを起動すると、次のエラーが表示されることがあります。

```
./install.bin: !: not found
```

このエラーは無視することができ、インストーラは正常に起動します。

### SUNWCreq クラスタがインストールされた Solaris でインストーラの実行が失敗する (CR 6982718)

SUNWCreq (コアシステムサポート) メタクラスタがインストールされた、Oracle Solaris OS が稼働しているサーバーに Oracle Hardware Management Pack をインストールする場合は、事前に SUNWxcu4 (POSIX df コマンドを含む) をインストールするか、次の環境変数を設定する必要があります。

```
IATEMPDIR=$HOME
```

### Sun Fire X4170 M2 が正しい ICH10 スロット情報を得るためにはツールとドライバのインストールが必要である (CR 6992155)

Windows Server 2008 R2 が稼働している Sun Fire X4170 M2 システムでは、RAIDconfig ツールを使用する前に、X4170 M2 のツールおよびドライバ CD からドライバをインストールします。ドライバをインストールしないと、内部 ICH10 コントローラに接続されている HDD のスロット情報が正しく報告されない可能性があります。

Oracle Hardware Installation Assistant を使用して Windows Server 2008 R2 をインストールすることでも、この問題を回避できます。

## SUNWipmi がインストールされた Oracle Solaris OS サーバーでインストールを完了できない (CR 7070692)

Oracle Solaris OS 10 が稼働しているサーバーに SUNWipmi がすでにインストールされている場合は、Hardware Management Pack を正常にインストールできません。唯一の回避方法は、control-c を使用して実行中のインストールを中止し、インストールされているバージョンの SUNWipmi を削除したあとで、ふたたび Hardware Management Pack のインストールを開始することです。

## Oracle Linux 6 で GUI モードでインストーラを起動できない (CR 7129501)

Oracle Linux 6 で GUI モードの Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用すると、グラフィカルインストーラを起動できません。これは、libXtst.i686 パッケージがデフォルトでインストールされないためです。GUI モードを使用する前にこのパッケージをインストールするか、コンソールモードを使用します。

## Linux への QLogic サポートのインストールに長時間かかる (CR 7115215)

Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用して Linux に QLogic サポートをインストールすることを選択した場合、プロセスに長時間かかることがあります。このプロセスをより効率的にするには、QLogic パッケージを手動でインストールします。

# Hardware Management Pack コンポーネントのインストール

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 24 ページの「GUI モードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」
- 38 ページの「コンソールモードを使用したコンポーネントのインストールまたはアンインストール」
- 44 ページの「サイレントモードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」

## GUI モードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール

このセクションでは、次の手順について説明します。

- 25 ページの「GUI モードを使用して Hardware Management コンポーネントをインストールする方法」



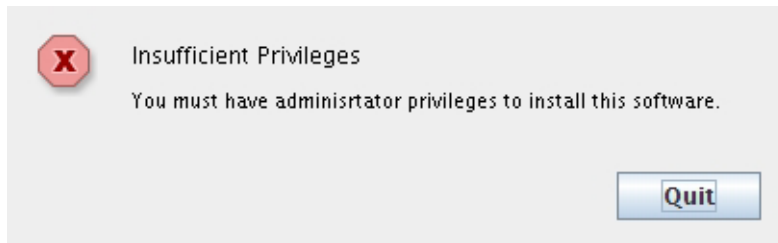
- 33 ページの「GUIモードを使用して Hardware Management コンポーネントをアンインストールする方法」

## ▼ GUIモードを使用して Hardware Management コンポーネントをインストールする方法

- 始める前に
- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。
  - Hardware Management Pack をダウンロードして展開します。20 ページの「ソフトウェアの入手」を参照してください。  
この手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extract-directory* と記載します。
  - Windows Server 2003 SP2 以前では、Sun IPMI System Management Driver を先にインストールする必要があります。65 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール」を参照してください。それ以外のオペレーティングシステムには、このドライバが組み込まれています。
  - インストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を満たす必要があります。詳細は、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。
  - Oracle Solaris オペレーティングシステムでは、pkgadd(1M) の制限により、Hardware Management Pack を展開するパスに空白を含めると、インストールプロセスを続行できません。
- 1 インストーラを起動するには、次のコマンドのいずれかを入力します。
- Oracle Solaris OS ベースのシステムの場合:  
SPARC プロセッサ: `/extract-directory/oracle-hmp-version/install.sparc.bin`  
x86 プロセッサ: `/extract-directory/oracle-hmp-version/install.x86.bin`
  - Linux ベースのシステムの場合: `/extract-directory/oracle-hmp-version/install.bin`
  - Windows システムの場合: `/extract-directory/oracle-hmp-version/install.exe`  
スプラッシュ画面が開きます。

2 次のダイアログのいずれかが開いた場合は、適切なアクションを実行します。

- 次のダイアログが開いた場合は、「Quit」をクリックし、管理者特権でシステムにログインします。



- 次のダイアログが開いた場合は、「Quit」をクリックし、以前にインストールされたバージョンのソフトウェアを削除します。

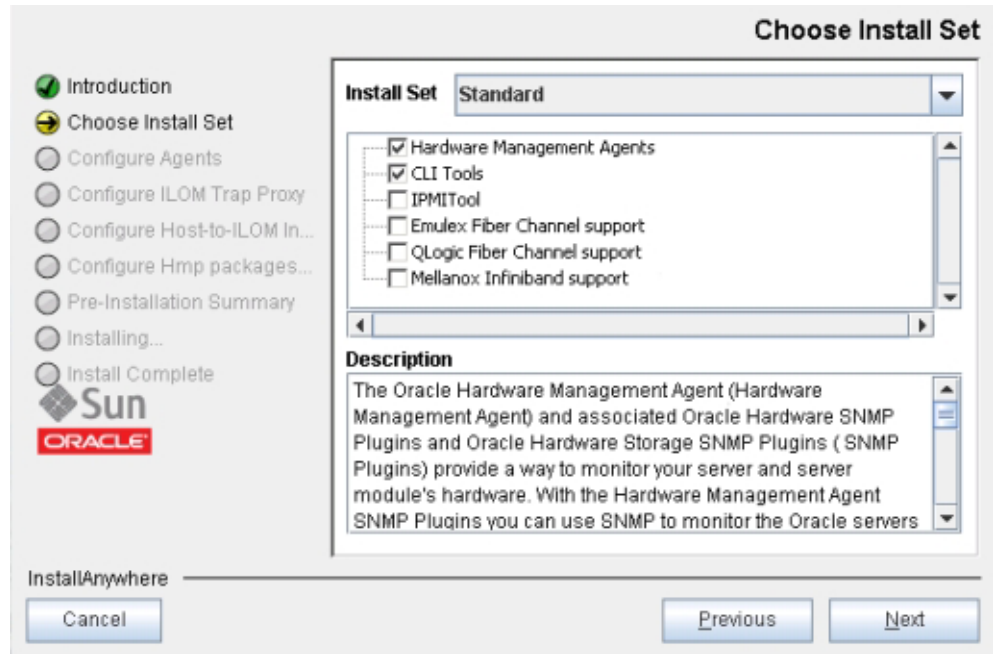


- 次のダイアログが開いた場合は、「Quit」をクリックし、使用するプロセッサアーキテクチャーに対応した正しいソフトウェアバージョンがインストールされていることを確認します。



インストールを続行できる状態になると、「Introduction」画面が開きます。続行する準備ができたなら、「Next」をクリックします。

- 3 「Install Set」ドロップダウンメニューから、「Standard」または「Custom」のいずれかを選択します。
  - 「Standard」を選択した場合は、「Hardware Management Agents」および「CLI Tools」コンポーネントが自動的に選択されます。
  - 「Custom」を選択した場合は、「Choose Install Set」画面が開きます。



- 4 使用可能なコンポーネントについては、コンポーネント名をクリックします。  
「Description」フィールドには、コンポーネントに関する情報が表示されます。

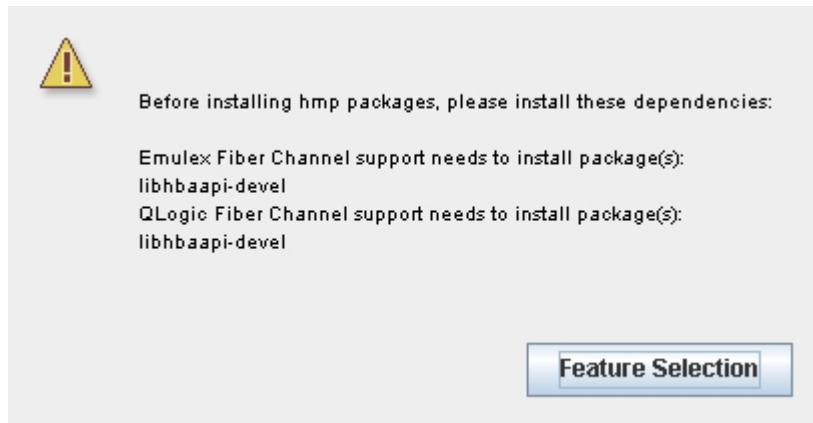
注 - 「Fibre Channel support」オプションは、互換性のあるハードウェアが搭載されたサーバーでのみ選択するべきです。サポートされるハードウェアが搭載されていないサーバーでこれらのオプションを選択すると、インストールプロセスが遅くなります。

- 5 チェックボックスにチェックマークを付けて、インストールするコンポーネントを選択して、「Next」をクリックします。

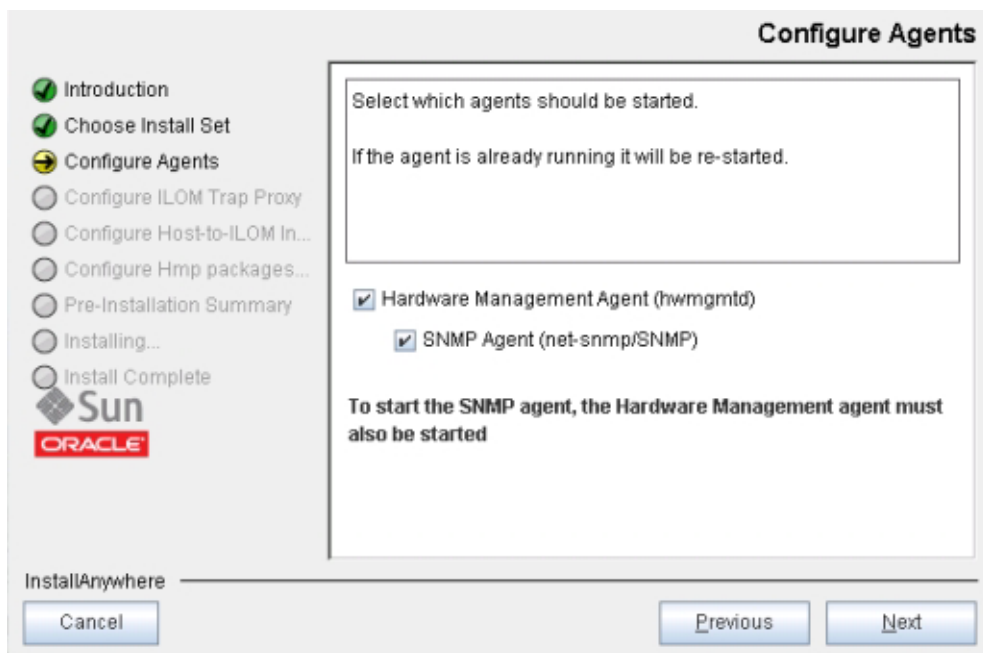
- 6 次のダイアログのいずれかが開いた場合は、適切なアクションを実行します。
  - 「OK」をクリックし、「Choose Install Set」画面で **Hardware Management Agent** 機能の選択を解除します。



- 「Feature Selection」をクリックして、一覧表示される依存関係をインストールします。



「Configure Agents」画面が開きます。



- 7 **Hardware Management Agent** および **SNMP Agent** を選択し、「Next」をクリックします。

---

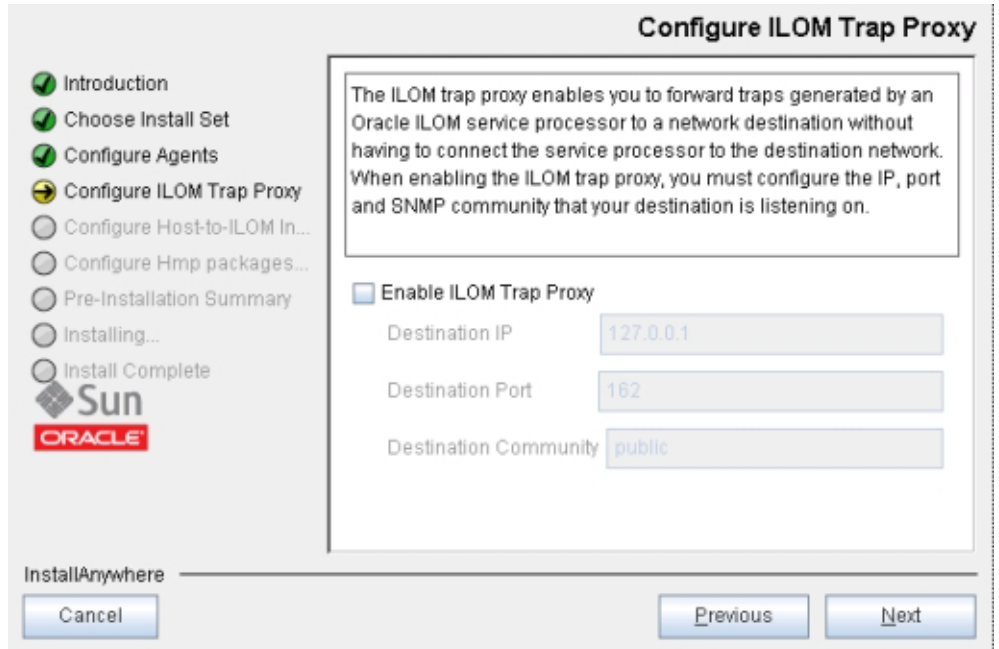
注 - 「SNMP Agent」を選択する場合は、「Hardware Management Agent」も選択する必要があります。

---

- 8 次のいずれかを選択します。
  - **Hardware Management Agent** を選択しなかった場合は、次の手順に進みます。

- **Hardware Management Agent** を選択した場合は、**ILOM** トラッププロキシを有効にすることを選択できます。

ILOM トラッププロキシを使用すると、Oracle ILOM サービスプロセッサによって生成された障害トラップを、ホストと ILOM の相互接続を介してネットワークの宛先に転送できます。ILOM トラッププロキシを有効にするときは、IP、ポート、および宛先が待機している SNMP コミュニティーを構成する必要があります。

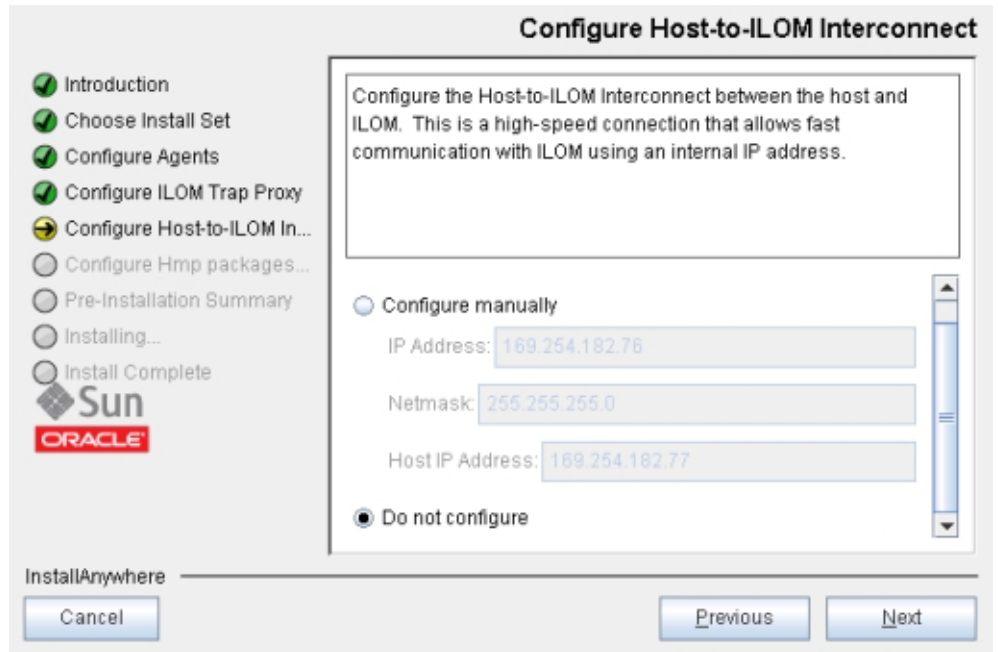


- 9 サーバーで新規のホストと **ILOM** の相互接続がサポートされている場合、インストール中に相互接続の構成を選択できます。ホストと **ILOM** の相互接続の詳細は、[15 ページの「ホストと ILOM の相互接続の有効化」](#)を参照してください。
  - ホストと ILOM の相互接続のないサーバーでは、次の手順に進みます。
  - サポートされるプラットフォームでは、「Configure Host-to-ILOM Interconnect」画面が開きます。

---

注 - ILOM トラッププロキシが機能するためには、ホストと ILOM の相互接続を有効にする必要があります。

---



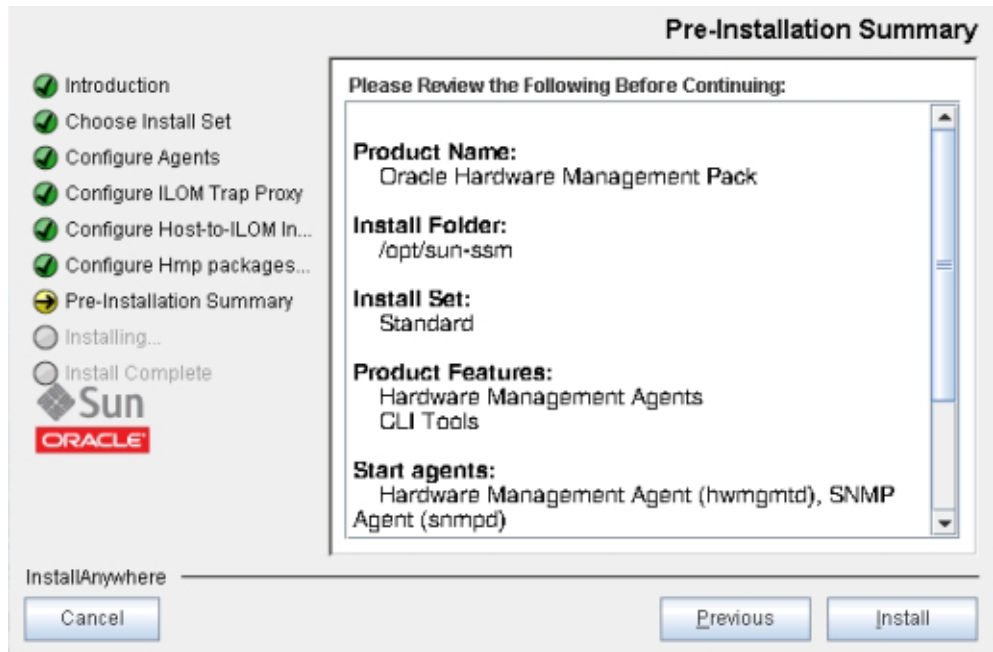
デフォルトでは、ホストとILOMの相互接続は無効で、構成されていません。ホストとILOMの相互接続を構成するオプションのいずれかを選択します。

- 「**Configure automatically**」 オプションを選択する場合は、デフォルトの設定を使用してホストとILOMの相互接続が構成されます。
- 「**Configure manually**」 オプションを選択する場合は、「**IP Address**」、「**Netmask**」、「**Host IP Address**」の各情報を入力する必要があります。

注- 自動構成が推奨されます。手動構成は上級者向けです。

- 10 非大域ゾーンが使用可能な **Oracle Solaris 10** が稼働しているサーバーでは、非大域ゾーンにインストールするオプションが表示されます。

- 11 「Pre-Installation Summary」画面が開き、次の画面のような情報が表示されます。

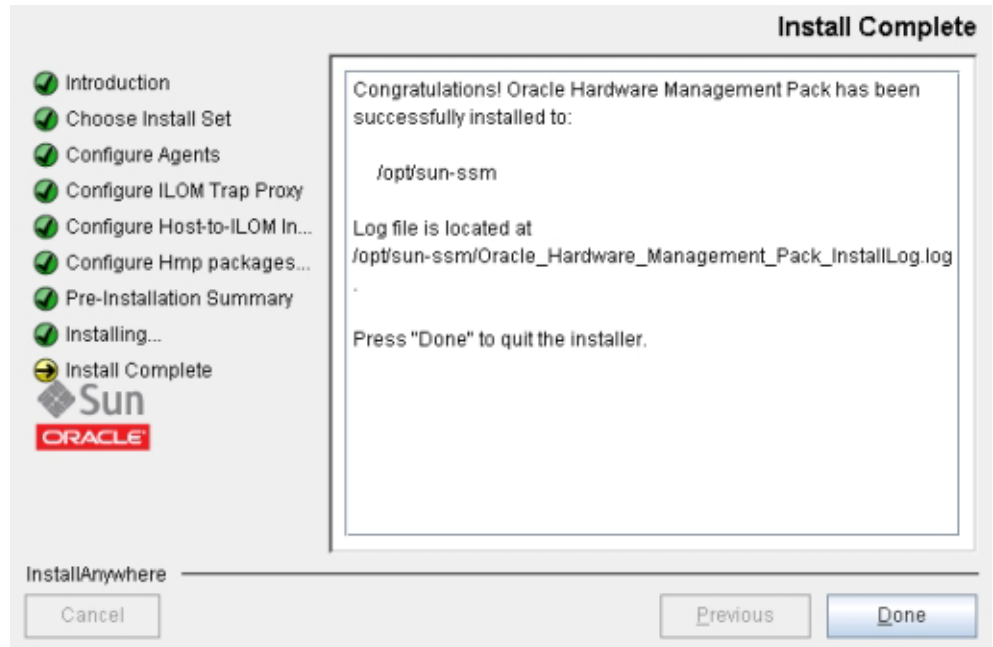


「Pre-Installation Summary」の情報が正しいことを確認します。

- 変更するインストール項目がある場合は、該当する画面に戻るまで「Previous」ボタンをクリックします。



- 情報が正しい場合は、「Install」をクリックします。  
インストールが完了すると、「Install Complete」画面が開きます。



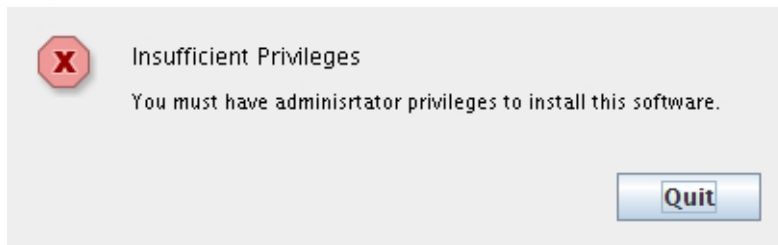
- 12 「Done」をクリックしてインストールを完了します。

- 参照
- 33 ページの「GUIモードを使用して Hardware Management コンポーネントをアンインストールする方法」
  - 38 ページの「コンソールモードを使用したコンポーネントのインストールまたはアンインストール」
  - 44 ページの「サイレントモードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」

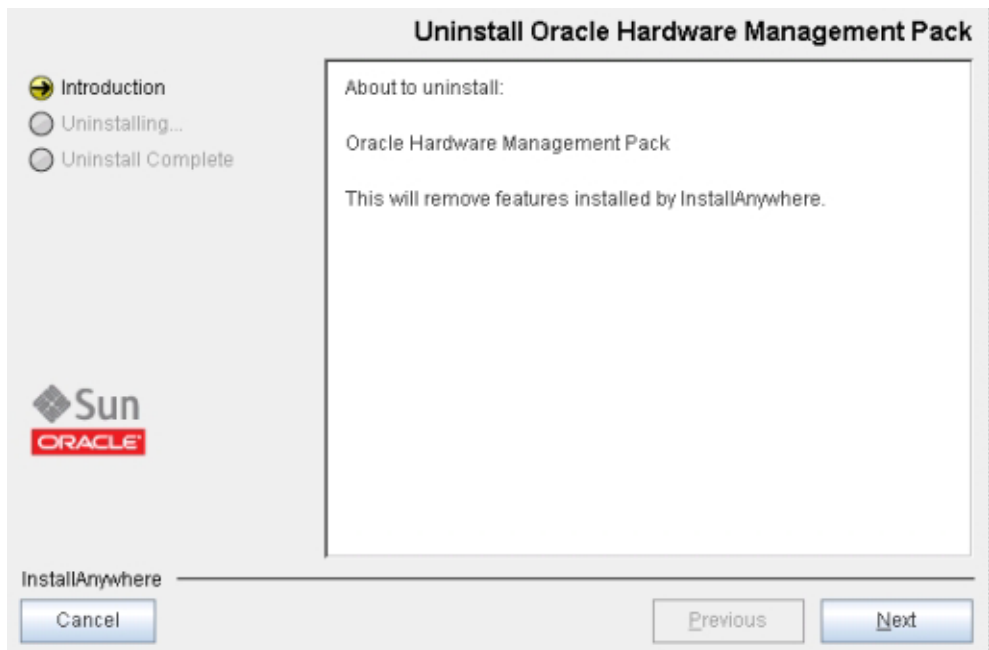
## ▼ GUIモードを使用して Hardware Management コンポーネントをアンインストールする方法

- 始める前に
- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをアンインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。

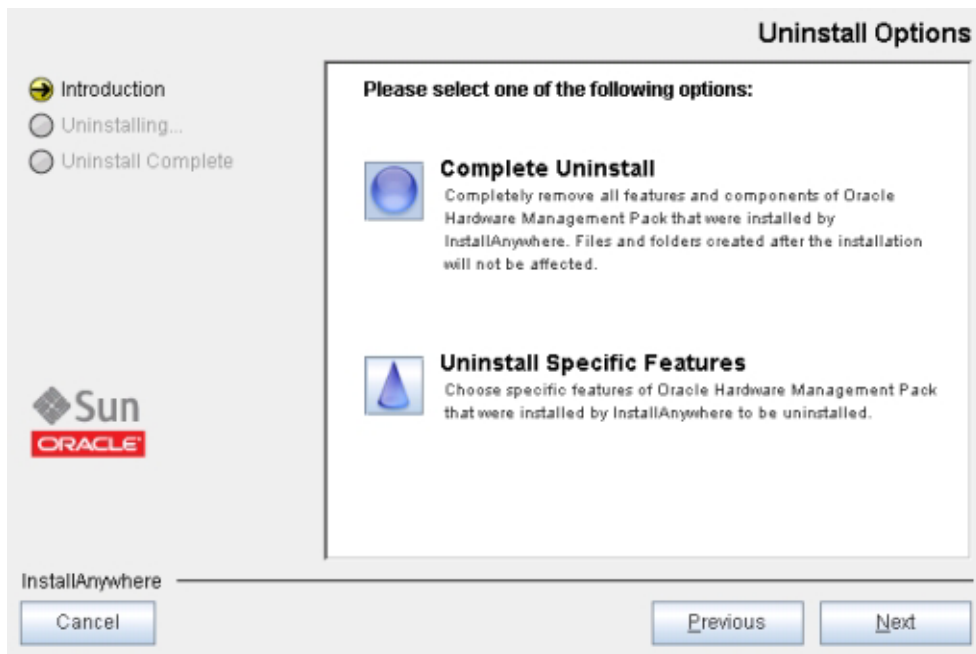
- 1 アンインストーラを起動するには、次のコマンドのいずれかを実行します。
  - Oracle Solaris OS または Linux システムの場合: `/opt/sun-ssm/setup/uninstall`
  - Windows システムの場合: `Program Files\Oracle\Oracle Hardware Management Pack\setup\uninstall.exe`。ここで、*Program Files* は、使用している Windows バージョンでプログラムが格納されるフォルダです。スプラッシュ画面が開きます。
- 2 次のダイアログが開いた場合は、「Quit」をクリックし、管理者特権でシステムにログインします。



「Uninstall Oracle Management Pack」画面が開きます。

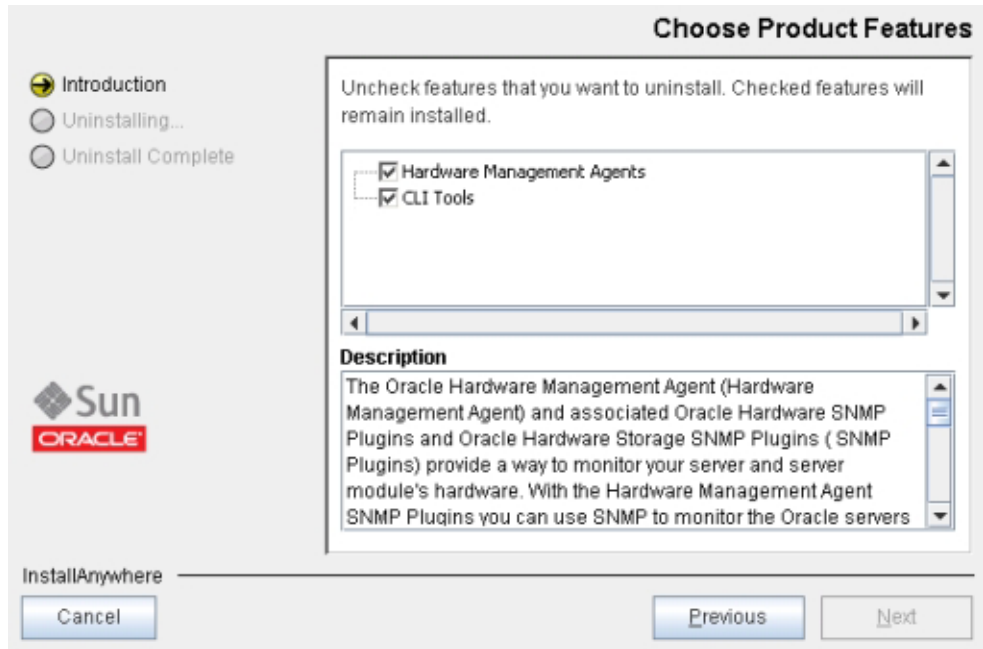


- 3 「次へ」をクリックします。  
「Uninstall Options」画面が開きます。

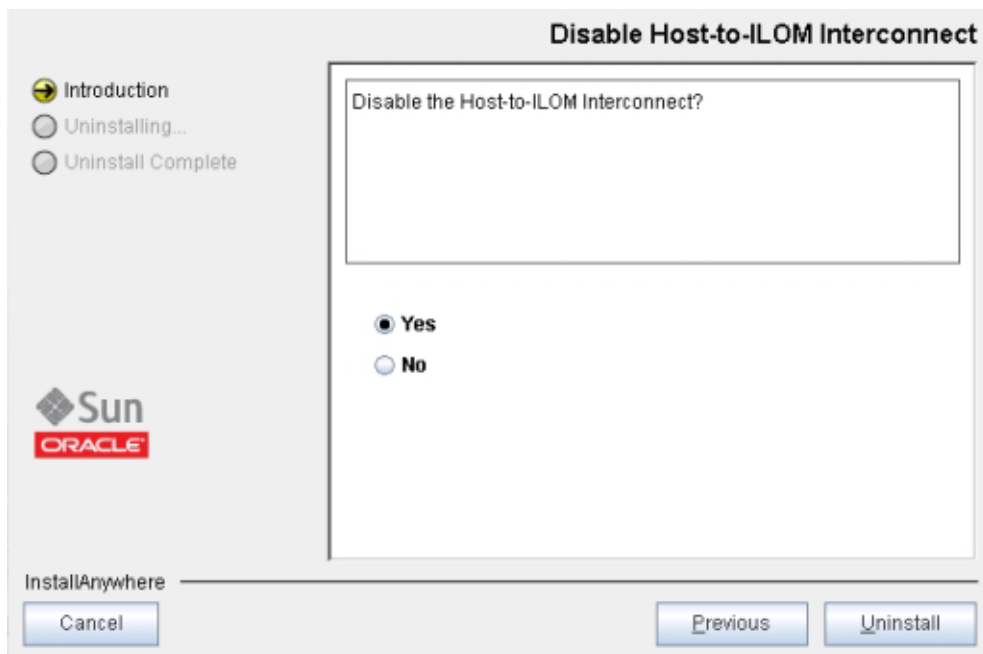


- 4 「**Complete Uninstall**」または「**Uninstall Specific Features**」を選択し、「**Next**」をクリックします。

「**Uninstall Specific Features**」を選択した場合は、「**Choose Product Features**」画面が開きます。



インストール時にホストとILOMの相互接続が有効になっていた場合は、次の画面が開きます。



- 5 「Yes」または「No」を選択し、「Uninstall」をクリックします。
- 6 アンインストールする機能を選択し、「Uninstall」をクリックします。

「Uninstall Oracle Hardware Management Pack」画面が開きます。

コンポーネントがアンインストールされると、「Uninstall Complete」画面が開きます。

- 7 「Done」をクリックします。

- 参照
- 25 ページの「GUIモードを使用して Hardware Management コンポーネントをインストールする方法」
  - 38 ページの「コンソールモードを使用したコンポーネントのインストールまたはアンインストール」
  - 44 ページの「サイレントモードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」

## コンソールモードを使用したコンポーネントのインストールまたはアンインストール

このセクションでは、次の手順について説明します。

- 38 ページの「コンソールモードを使用して Hardware Management コンポーネントをインストールする方法」
- 43 ページの「コンソールモードを使用して Hardware Management Pack コンポーネントをアンインストールする方法」

### ▼ コンソールモードを使用して Hardware Management コンポーネントをインストールする方法

- 始める前に
- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。
  - Hardware Management Pack をダウンロードして展開します。20 ページの「ソフトウェアの入手」を参照してください。  
この手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extract-directory* と記載します。
  - Windows Server 2003 SP2 以前では、Sun IPMI System Management Driver を先にインストールする必要があります。65 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール」を参照してください。
  - インストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を満たす必要があります。詳細は、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。
  - Oracle Solaris オペレーティングシステムでは、pkgadd(1M) の制限により、Hardware Management Pack を展開するパスに空白を含めると、インストールプロセスを続行できません。
  - Windows Server オペレーティングシステムが稼働しているサーバーでは、ホストと ILOM の相互接続のインストール時にセキュリティー証明書をインポートする必要があります。詳細は、70 ページの「セキュリティー証明書を Windows サーバーでインポートする方法」を参照してください。
- 1 サーバーとのコンソールセッションを設定します。

2 インストーラを起動するには、次のコマンドのいずれかを入力します。

- Linux ベースのシステムの場合: `/extract-directory/oracle-hmp-version/install.bin -i console`
- Oracle Solaris OS の場合: `/extract-directory/oracle-hmp-version/install.arch.bin -i console`  
ここで、*arch* は、使用しているプロセッサに応じて SPARC または x86 です。
- Windows システムの場合: `\extract-directory\oracle-hmp-version\install.exe -i console`

システムによって、次のような出力が表示されます。

```

Preparing to install...
Extracting the installation resources from the installer archive...
Configuring the installer for this system's environment...

Launching installer...

Preparing CONSOLE Mode Installation...

=====
Oracle Hardware Management Pack                (created with InstallAnywhere)
-----

=====
Introduction
-----

InstallAnywhere will guide you through the installation of Oracle Hardware
Management Pack.

It is strongly recommended that you quit all programs before continuing with
this installation.

Respond to each prompt to proceed to the next step in the installation.  If you
want to change something on a previous step, type 'back'.

You may cancel this installation at any time by typing 'quit'.

```

3 次のように表示されます。

```

ENTER A COMMA_SEPARATED LIST OF NUMBERS REPRESENTING THE FEATURES YOU WOULD
LIKE TO SELECT, OR DESELECT. TO VIEW A FEATURE'S DESCRIPTION, ENTER
'?<NUMBER>'. PRESS RETURN WHEN YOU ARE DONE:

```

- ```

1- [X] Hardware Management Agents
2- [X] CLI Tools
3- [ ] IPMITool
4- [ ] Emulex Fibre Channel support

```

5- [ ] QLogic Fibre Channel support

Please choose the Features to be installed by this installer.:

オプション1と2はあらかじめ選択されています。選択したオプションを切り替えるには、番号をコンマで区切ったリストを入力します。

たとえば、上記のデフォルトの選択では、「1,3」と入力した場合、「Hardware Management Agents」が選択解除され、「IPMITool」が選択されます。

4 インストールする機能を入力したら、**Return** を押します。

次のように表示された場合:

```
=====
Dependency requirement for feature selection.
-----
```

Before installing hmp packages, please resolve these requirements:

```
Emulex Fibre Channel support requires package(s):  elxocmcore
libhbaapi-devel
QLogic Fibre Channel support requires package(s):  libhbaapi-devel
```

- 1- Exit and resolve the dependencies.
- 2- Continue and de-select unresolved packages.

いずれかのオプションを選択してEnterを押します。

5 手順3での選択に応じて、次の手順に従います。

- **Hardware Management Agents** のインストールを選択しなかった場合は、手順6に進みます。
- **Hardware Management Agents** のインストールを選択した場合は、次のように表示されます。

```
Configure Hardware Management Agent
-----
```

Start the Hardware Management Agent? This agent's short name is hwmgmt.

- >1- Yes
- 2- No

希望する番号を入力するか、Enter キーを押して「Yes」を選択します。

次の画面が開きます。

```
Configure SNMP Agent
-----
```

Start the SNMP agent? This agent's short name is snmpd on Linux, sma on Solaris, and SNMP on Windows.

- >1- Yes
- 2- No



希望する番号を入力するか、Enter キーを押して「Yes」を選択します。

- 6 手順3で **Hardware Management Agents** のインストールを選択しなかった場合は、手順10に進みます。手順3で **Hardware Management Agents** のインストールを選択した場合は、**ILOM** トラッププロキシを構成できます。

```
=====
Configure ILOM Trap Proxy
-----
```

The ILOM trap proxy enables you to forward traps generated by an Oracle ILOM service processor to a network destination without having to connect the service processor to the destination network. When enabling the SNMP trap proxy, you must configure the IP, port and SNMP community that your destination is listening on.

Do you want to enable ILOM Trap Proxy?

- 1- Yes  
->2- No

障害トラッププロキシを有効にする場合は、「1」を入力します。SNMP 障害トラッププロキシを構成するか、デフォルトを受け入れるためのオプションが表示されます。

Destination IP (DEFAULT: 127.0.0.1):

Destination Port (DEFAULT: 162):

Destination Community (DEFAULT: public):

- 7 手順3で **CLI** ツールのインストールを選択しなかった場合は、手順10に進みます。手順3で「**CLI Tools**」を選択した場合は、次のように表示されます。

```
Configure Host-to-ILOM Interconnect
-----
```

Configure the Host-to-ILOM Interconnect between the host and ILOM. This is a high-speed connection that allows fast communication with ILOM using an internal IP address.

- 1- Configure automatically  
->2- Configure manually

---

注- ホストと ILOM の相互接続の詳細は、15 ページの「[ホストと ILOM の相互接続の有効化](#)」を参照してください。

---

- 8 デフォルトでは、ホストと **ILOM** の相互接続は無効で、構成されていません。インストール先のサーバーでホストと **ILOM** の相互接続がサポートされる場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。

希望する番号を入力するか、Enter キーを押して「Configure automatically」を選択します。

1 または 3 を選択した場合は、手順 11 に進みます。「2-Configure manually」を選択した場合は、次のように表示されます。

```
Configure Host-to-ILOM Interconnect Manually
-----
```

Specify the following parameters.

IP Address: (DEFAULT: 169.254.182.76):

Netmask: (DEFAULT: 255.255.255.0):

Host IP Address: (DEFAULT: 169.254.182.77):

- 9 「IP Address」、「Netmask」、および「Host IP Address」に適切な値を入力し、Enter キーを押します。

「Pre-Installation Summary」が開きます。

- 10 「Pre-Installation Summary」に表示される情報が正しいことを確認します。

- 情報が正しくない場合、変更を行う画面に戻るまで「back」と入力します。
- 画面に表示された情報が正しい場合は、Enter キーを押して先に進みます。

次の画面が開きます。

```
Ready To Install
-----
```

```
InstallAnywhere is now ready to install Oracle Hardware Management Pack onto
your system at the following location:
```

- 11 Enter キーを押してインストールを開始します。

インストールには約2分かかります。

- 参照
- 43 ページの「コンソールモードを使用して Hardware Management Pack コンポーネントをアンインストールする方法」
  - 24 ページの「GUI モードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」
  - 44 ページの「サイレントモードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」

## ▼ コンソールモードを使用して **Hardware Management Pack** コンポーネントをアンインストールする方法

- 始める前に
- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをアンインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。

1 アンインストールを開始するには、次のコマンドのいずれかを入力します。

- **Oracle Solaris OS** または **Linux** システムの場合: `/opt/sun-ssm/setup/uninstall -i console`
- **Windows** システムの場合: `Program Files\Oracle\Oracle Hardware Management Pack\setup\uninstall -i console`。ここで、*Program Files* は、使用している Windows バージョンでプログラムが格納されるフォルダです。

次の画面が開きます。

```
Uninstall Oracle Hardware Management Pack
-----
```

```
About to uninstall...
```

```
Oracle Hardware Management Pack
```

```
This will remove features installed by InstallAnywhere. It will not remove
files and folders created after the installation.
```

2 **Enter** キーを押します。

次の画面が開きます。

```
Uninstall Options
-----
```

```
ENTER THE NUMBER FOR YOUR CHOICE, OR PRESS <ENTER> to select the default.
```

```
->1- Completely remove all features and components.
```

```
2- Choose specific features that were installed by InstallAnywhere.
```

```
Please choose one of the following options:
```

3 希望する番号を入力するか、**Enter** キーを押してすべての機能とコンポーネントを完全に削除します。

アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると次の画面が開きます。

```
Uninstall Complete
-----
```

```
All items were successfully uninstalled.
```

#### 4 Enter キーを押してインストーラを終了します。

- 参照
- 38 ページの「コンソールモードを使用して Hardware Management コンポーネントをインストールする方法」
  - 24 ページの「GUI モードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」
  - 44 ページの「サイレントモードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」

## サイレントモードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール

このセクションには、次のトピックが含まれています。

- 44 ページの「サイレントモードでのインストールのオプション」
- 45 ページの「サイレントモードを使用して Hardware Management Pack コンポーネントをインストールする方法」
- 47 ページの「サイレントモードを使用して Hardware Management Pack コンポーネントをアンインストールする方法」

### サイレントモードでのインストールのオプション

サイレントモードは、非対話型のインストール方法です。 *extraction-directory* に移動し、コマンド行で `install.bin` (Oracle Solaris OS または Linux) または `install.exe` (Windows) を実行します。サイレントモードは次の2つの方法のいずれかで実行します。

- サイレントインストールは、応答ファイルを指定することで指示できます。応答ファイルには、インストーラがインストール時に選択するパラメータとプロパティが定義されています。

次の例に示すように、`-r` オプションを使用して GUI モードまたはコンソールモードのインストールを実行することで、事前に応答ファイルを作成できます。

```
# ./install.bin -i GUI -r /path_to_file/response.txt
```

応答ファイルを作成したら、次のコマンドを実行し、このファイルを使用して同一のサイレントインストールを実行できます。

```
# ./install.bin -i silent -f /path_to_file/response.txt
```

- 応答ファイルを指定しない場合は、Management Pack コンポーネントのデフォルトインストールが実行され、インストール後の構成手順は実行されません。デフォルトのサイレントインストールを使用すると、IPMItool を除くすべての Management Pack コンポーネントがインストールされます。

---

注 - SNMP が構成されていないサーバーには、Management Agent はインストールされません。以前のバージョンの Management Pack がインストールされているサーバーの場合、そのソフトウェアがアップグレードされます。ホストと LOM 間の相互接続は、デフォルトでは構成または有効にされていません。

---

## ▼ サイレントモードを使用して **Hardware Management Pack** コンポーネントをインストールする方法

- 始める前に
- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。
  - Hardware Management Pack ソフトウェアをダウンロードして展開します。[20 ページの「ソフトウェアの入手」](#)を参照してください。  
この手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extract-directory* と記載します。
  - Windows Server 2003 SP2 以前では、Sun IPMI System Management Driver を先にインストールする必要があります。[65 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール」](#)を参照してください。
  - インストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を満たす必要があります。詳細は、[71 ページの「ソフトウェアの依存関係」](#)を参照してください。
  - Oracle Solaris オペレーティングシステムでは、pkgadd(1M) の制限により、Hardware Management Pack を展開するパスに空白を含めると、インストールプロセスを続行できません。
  - インストールを実行する前に、[44 ページの「サイレントモードでのインストールのオプション」](#)を参照してください。
  - Windows Server オペレーティングシステムが稼働しているサーバーでは、ホストと ILOM の相互接続のインストール時にセキュリティー証明書をインポートする必要があります。詳細は、[70 ページの「セキュリティー証明書を Windows サーバーでインポートする方法」](#)を参照してください。
- サイレントモードでのインストールプロセスを開始するには、次のコマンドのいずれかを使用します。
    - Oracle Solaris OS または Linux システムの場合:
      - 標準的なサイレントインストールを実行する場合:  
`/extract-directory/oracle-hmp-version/install.bin -i silent`

- 応答ファイルで指示を与えるインストールを実行する場合:  
`/extract-directory/oracle-hmp-version/install.bin -i silent -f/path_to_file/response.txt`
- Windows システムの場合:
  - 標準的なサイレントインストールを実行する場合:  
`\extract-directory\oracle-hmp-version\install.exe -i silent`
  - 応答ファイルで指示を与えるインストールを実行する場合:  
`\extract-directory\oracle-hmp-version\install.exe -i silent -f\path_to_file\response.txt`

---

注 - SNMP が構成されていないサーバーには、Management Agent はインストールされません。以前のバージョンの Management Pack がインストールされているサーバーの場合、そのソフトウェアがアップグレードされます。

---

次のような出力が開きます。

```
Preparing to install...
Extracting the installation resources from the installer archive...
Configuring the installer for this system's environment...

Launching installer...

Preparing SILENT Mode Installation...

=====
Oracle Hardware Management Pack                (created with InstallAnywhere)
-----
```

インストールには約2分かかります。インストールの進行を示す進捗バーが表示されます。

インストールが完了すると次の出力が表示されます。

```
Installation Complete.
```

- 参照
- 47 ページの「サイレントモードを使用して Hardware Management Pack コンポーネントをアンインストールする方法」
  - 24 ページの「GUI モードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」
  - 38 ページの「コンソールモードを使用したコンポーネントのインストールまたはアンインストール」

## ▼ サイレントモードを使用して **Hardware Management Pack** コンポーネントをアンインストールする方法

始める前に

- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをアンインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。

- サイレントモードでのインストールプロセスを開始するには、次のコマンドのいずれかを使用します。

- Oracle Solaris OS または Linux システムの場合: `/opt/sun-ssm/setup/uninstall -i silent`

- Windows システムの場合: `Program Files\Oracle\Oracle Hardware Management Pack\setup\uninstall.exe -i silent`。ここで、*Program Files* は、使用している Windows バージョンでプログラムが格納されるフォルダです。

次の出力が開きます。

```
Preparing SILENT Mode Uninstallation...
```

```
=====
Oracle Hardware Management Pack                (created with InstallAnywhere)
-----
```

```
=====
Uninstalling...
```

インストールには約2分かかります。インストールの進行を示す進捗バーが表示されます。

インストールが完了すると次の出力が表示されます。

```
Uninstallation Complete.
```

- 参照
- 45 ページの「サイレントモードを使用して Hardware Management Pack コンポーネントをインストールする方法」
  - 24 ページの「GUI モードを使用したコンポーネントのインストールとアンインストール」
  - 38 ページの「コンソールモードを使用したコンポーネントのインストールまたはアンインストール」





# コンポーネントの手動インストール

---

このセクションでは、OSに固有のコマンドを使用して、Hardware Management Pack コンポーネントを Oracle サーバーに手動でインストールおよびアンインストールする方法について説明します。

このセクションでは、次の項目について説明します。

- 49 ページの「Oracle Solaris サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール」
- 56 ページの「Linux サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール」
- 61 ページの「Windows サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール」

## Oracle Solaris サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 49 ページの「Oracle Solaris 10 サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール」
- 53 ページの「Oracle Solaris 11 サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール」
- 55 ページの「Oracle Solaris サーバーで Hardware Management Pack を手動で構成する方法」

## Oracle Solaris 10 サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 50 ページの「Oracle Solaris 10 で使用可能なパッケージ」
- 51 ページの「コンポーネントを Oracle Solaris 10 サーバーに手動でインストールする方法」

- 52 ページの「コンポーネントを Oracle Solaris 10 サーバーから手動でアンインストールする方法」

## Oracle Solaris 10 で使用可能なパッケージ

このセクションには、Hardware Management Pack に付属のパッケージに関する詳細が記載されています。これらのパッケージのソフトウェアの依存関係については、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。次のパッケージが、Oracle Solaris 10 が稼働している Intel x86 および SPARC アーキテクチャーサーバーで使用可能です。

- ORCLhmp-hwmgmt - Oracle Server Hardware Management Agents。
- ORCLhmp-libs - Oracle Hardware Management Pack に必要なライブラリ。
- ORCLhmp-snmpp - Oracle Server Hardware SNMP Plugins。
- ORCLhmp-tools - Oracle Server CLI ツール。
- ELXocmcore および EMLXemlxu - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、Emulex ファイバチャネルのサポートおよびドライバ。
- SUNWfirmwareflash - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、InfiniBand ホストチャネルアダプタ用の Oracle Solaris 汎用ファームウェアフラッシュツール。
- QConvergeConsoleCLI - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、QLogic ファイバチャネルホストバスアダプタのコマンド行インタフェース。
- ipmiflash - IPMIflash ユーティリティ。
- ipmitool - IPMItool ユーティリティ。

---

注 - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である QLogic ファイバチャネルホストバスアダプタのコマンド行インタフェースは、以前は QLScli および QLSclix として提供されていました。

---

次のパッケージは、SPARC プロセッサアーキテクチャーサーバーのみにインストールできます。

- ORCLhmp-uecm - CDC ECM USB-to-Ethernet ドライバ。
- ORCLhmp-zoningcli - 16 ディスクバックプレーンを搭載した Oracle SPARC T3-1 サーバー用のゾーン機能を設定する CLI ツール。

次のパッケージは、Intel プロセッサアーキテクチャーサーバーのみにインストールできます。

- ORCLhmp-tools-biosconfig - Oracle Server CLI ツール biosconfig。

- ORCLhmp-tools-ubiosconfig- Oracle Server CLI ツール ubiosconfig。UEFI BIOS が搭載されたサーバーのみと互換性があり、Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部です。

---

注 - Hardware Management Pack バージョン 2.2.2 では、ORCLhmp-tools-biosconfig は Intel プロセッサアーキテクチャマシン用の別個のパッケージですが、biosconfig は SPARC プロセッサアーキテクチャマシンでの ORCLhmp-tools パッケージに属しています。

---

## ▼ コンポーネントを Oracle Solaris 10 サーバーに手動でインストールする方法

- 始める前に
- Oracle Hardware Management Pack インストーラで Management Pack コンポーネントをインストールするには、管理者特権でシステムにログインする必要があります。
  - Hardware Management Pack をダウンロードして展開します。20 ページの「ソフトウェアの入手」を参照してください。  
この手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extract-directory* と記載します。
  - インストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を満たす必要があります。詳細は、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。
  - Oracle Solaris オペレーティングシステムでは、pkgadd(1M) の制限により、Hardware Management Pack を展開するパスに空白を含めると、インストールプロセスを続行できません。
  - システムに、QLogic または Emulex のテクノロジーを使用するアダプタが組み込まれている場合、Hardware Management Pack に付属の適切なサードパーティーユーティリティをインストールする必要があります。50 ページの「Oracle Solaris 10 で使用可能なパッケージ」を参照してください。
- 1 IPMITool または IPMIflash のみをインストールする場合は、次の手順を参照してください。その他の Hardware Management Pack コンポーネントもインストールする場合は、手順 3 に進みます。
- ipmiflash をインストールするには、次のコマンドを実行します。  
`pkgadd -d file:///extraction-directory/packages ipmiflash`
  - ipmitool をインストールするには、次のコマンドを実行します。  
`pkgadd -d file:///extraction-directory/packages ipmitool`

- 競合するファイルのインストールを確認するプロンプトが表示された場合は、**y** と入力してインストールを続行します。
- インストールする **Hardware Management Pack** コンポーネントを決定します。  
[50 ページの「Oracle Solaris 10 で使用可能なパッケージ」](#) を参照してください。
- パッケージをインストールするには、次のコマンドを使用します。  

```
pkgadd -d file:///extraction-directory/packages ORCLhmp-Libs additional components
```

たとえば、Hardware Management Agent と SNMP Plugins のみをインストールするには、次のようにします。  

```
pkgadd -d file:///extraction-directory/packages  
ORCLhmp-Libs ORCLhmp-hwmgmt ORCLhmp-snmpp
```
- 画面上の指示に従って、インストールを続行します。  
選択したコンポーネントがインストールされます。

## ▼ コンポーネントを Oracle Solaris 10 サーバーから手動でアンインストールする方法

- 始める前に
- Hardware Management Pack コンポーネントを手動でアンインストールするには、**root** 権限でシステムにログインする必要があります。
  - アンインストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を遵守する必要があります。詳細は、[71 ページの「ソフトウェアの依存関係」](#) を参照してください。
  - アンインストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を遵守する必要があります。詳細は、[71 ページの「ソフトウェアの依存関係」](#) を参照してください。
- アンインストールするコンポーネントを決定します。[50 ページの「Oracle Solaris 10 で使用可能なパッケージ」](#) を参照してください。

---

注-

- ORCLhmp-Libs は、その他すべての Hardware Management パッケージのアンインストール後にアンインストールする必要があります。
  - ORCLhmp-snmpp は、ORCLhmp-hwmgmt のアンインストール前にアンインストールする必要があります。
- 

- 次のコマンドを実行します。

```
pkgrm package name(s)
```

たとえば、ハードウェアエージェントと SNMP Plugins を削除するには、次のようにします。

```
pkgrm ORCLhmp-snmpp ORCLhmp-hwmgmt
```

- 3 画面上のプロンプトに従って、アンインストールを完了します。

## Oracle Solaris 11 サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール

このセクションでは、次の項目について説明します。

- [53 ページの「Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ」](#)
- [54 ページの「コンポーネントを Oracle Solaris 11 に手動でインストールする方法」](#)
- [55 ページの「コンポーネントを Oracle Solaris 11 サーバーから手動でアンインストールする方法」](#)

### Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ

このセクションには、Hardware Management Pack に付属のパッケージに関する詳細が記載されています。これらのパッケージのソフトウェアの依存関係については、[71 ページの「ソフトウェアの依存関係」](#)を参照してください。使用できるパッケージには、次のものがあります。

- hmp-libs - Oracle Hardware Management Pack に必要なライブラリ。
- hmp-snmpp - Oracle Server Hardware SNMP Plugins。
- hmp-hwmgmt - Oracle Server Hardware Management Agents。
- hmp-tools - Oracle Server CLI ツール。
- hmp-ipmiflash - IPMIflash ユーティリティ。
- hmp-ipmitool - IPMItool ユーティリティ。
- hmp-tools-biosconfig - BIOS 構成ユーティリティ。
- hmp-tools-ubiosconfig - UEFI BIOS 構成ユーティリティ。
- hmp-zoningcli - 16 ディスクバックプレーンを搭載した Oracle SPARC T3-1 サーバー用のゾーン機能を設定する CLI ツール。
- ELXocmcore および EMLXemlxu - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、Emulex ファイバチャネルのサポートおよびドライバ。
- QConvergeConsoleCLI - Hardware Management Pack バージョン 2.2.6 以降の一部である、QLogic ファイバチャネルホストバスアダプタのコマンド行インタフェース。

---

注 - hmp-hwmgmt は、hmp-snmplib のインストール前にインストールする必要があります。

Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である QLogic ファイバチャネルホストバスアダプタのコマンド行インタフェースは、以前は QLScli および QLSclix として提供されていました。

---

## ▼ コンポーネントを Oracle Solaris 11 に手動でインストールする方法

- 始める前に
- Hardware Management Pack コンポーネントを手動でインストールするには、root 権限でシステムにログインする必要があります。
  - Hardware Management Pack をダウンロードして展開します。20 ページの「ソフトウェアの入手」を参照してください。  
この手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extract-directory* と記載します。
  - インストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を満たす必要があります。詳細は、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。
  - Oracle Solaris オペレーティングシステムでは、pkgadd(1M) の制限により、Hardware Management Pack を展開するパスに空白を含めると、インストールプロセスを続行できません。
  - システムに、QLogic または Emulex のテクノロジーを使用するアダプタが組み込まれている場合、Hardware Management Pack に付属の適切なサードパーティーユーティリティをインストールする必要があります。53 ページの「Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ」を参照してください。
- 1 インストールする Hardware Management Pack コンポーネントを決定します。  
53 ページの「Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ」を参照してください。
  - 2 使用可能なパッケージを一覧表示するには、次のようにします。  

```
pkg list -g file:///extraction-directory/oracle-hmp-2.2.2-SunOS-5.11.p5p
```
  - 3 パッケージをインストールするには、次のコマンドを使用します。  

```
pkg install -g file:///extraction-directory/oracle-hmp-2.2.2-SunOS-5.11.p5p package-name
```

  
ここで、*package-name* は、53 ページの「Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ」に一覧表示されている 1 つ以上のパッケージです。  
選択したパッケージがインストールされます。

## ▼ コンポーネントを Oracle Solaris 11 サーバーから手動でアンインストールする方法

- 始める前に
- Hardware Management Pack コンポーネントを手動でアンインストールするには、root 権限でシステムにログインする必要があります。
  - アンインストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を遵守する必要があります。詳細は、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。
- 1 アンインストールするコンポーネントを決定します。53 ページの「Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ」を参照してください。

---

注-

- hmp-libs は、その他すべての Hardware Management パッケージのアンインストール後にアンインストールする必要があります。
  - hmp-snmp は、hmp-hwmgmt のアンインストール前にアンインストールする必要があります。
  - hmp-zoningcli は、Oracle Solaris OS が稼働している SPARC サーバーでのみ使用可能です。
- 

- 2 パッケージをアンインストールするには、次のコマンドを使用します。

```
pkg uninstall package-name
```

ここで、*package-name* は、53 ページの「Oracle Solaris 11 で使用可能なパッケージ」に一覧表示されているパッケージの 1 つです。

## ▼ Oracle Solaris サーバーで Hardware Management Pack を手動で構成する方法

- 構成する機能に適したコマンドを実行します。
  - Oracle Server Management Agents がインストールされている場合は、次のコマンドを使用して Hardware Management Agent を再起動します。
 

```
/usr/sbin/svccadm disable hwmgmt
/usr/sbin/svccadm enable hwmgmt
```
  - Oracle Hardware SNMP Plugins がインストールされている場合は、SNMP デーモンを再起動します。  
Oracle Solaris 10 OS では、次のコマンドを使用します。
 

```
/usr/sbin/svccadm restart sma
```

Oracle Solaris 11 OS では、次のコマンドを使用します。

```
/usr/sbin/svcadm restart net-snmp
```

- ホストと ILOM の相互接続をサポートするサーバーに **itpconfig** がインストールされている場合、次の手順を使用してホストと ILOM の相互接続を有効にします。
  - a. 次のコマンドを使用して、サーバーの Oracle ILOM サービスプロセッサでこの機能がサポートされていることを確認します。

```
/opt/sun-ssm/bin/itpconfig list interconnect
```

SUBCOMMAND NOT SUPPORTED が開いた場合、この機能はサーバーでサポートされていません。
  - b. Oracle Solaris OS 10 10/09 に **usbemc** ドライバをインストールします。

```
pkgadd -d /extraction-directory/packages ORCLhmp-drvs
```
  - c. 次のいずれかを実行します。
    - 相互接続を自動的に有効にする場合は、次のコマンドを使用します。

```
/opt/sun-ssm/bin/itpconfig enable interconnect
```

これは、相互接続を構成するための優先される方法です。
    - 相互接続を手動で有効にする場合は、次のコマンドを使用します。

```
/opt/sun-ssm/bin/itponfig enable interconnect --ipaddress=x.x.x.x  
--netmask=x.x.x.x --hostipaddress=x.x.x.x
```

## Linux サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール

このセクションでは、次の手順について説明します。

- 56 ページの「Linux で使用可能なパッケージ」
- 57 ページの「コンポーネントを Linux サーバーにインストールする方法」
- 59 ページの「コンポーネントを Linux サーバーからアンインストールする方法」
- 59 ページの「インストール後にソフトウェアを構成する方法」

## Linux で使用可能なパッケージ

Hardware Management Pack のダウンロードには、手動でコンポーネントをインストールするために使用できるパッケージが含まれています。これらのパッケージのソフトウェアの依存関係については、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。次のリストに、これらのパッケージの名前の概要を示します。



- hmp-libs - Oracle Hardware Management Pack に必要なライブラリ。
- hmp-snmp - Oracle Server Hardware SNMP Plugins。
- hmp-hwmgmt - Oracle Server Hardware Management Agents。
- hmp-tools - Oracle Server CLI ツール。
- hmp-tools-biosconfig - Oracle Server CLI ツール biosconfig。
- hmp-tools-ubiosconfig - Oracle Server CLI ツール ubiosconfig。UEFI BIOS が搭載されたサーバーのみと互換性があり、Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部です。
- ipmiflash - IPMIflash ユーティリティ。
- ipmitool - IPMItool ユーティリティ。
- elxocmcore - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、Emulex ファイバチャネルのサポートおよびドライバ。
- QConvergeConsoleCLI - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、QLogic ファイバチャネルホストバスアダプタのコマンド行インタフェース。
- mstflint - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、Mellanox InfiniBand ホストチャネルアダプタのファームウェア書き込みおよび診断ツール。

パッケージのファイル名の形式は通常次のとおりです。

*component-version.distribution.architecture.rpm*

ここでは:

- *component* は、上述のいずれかのコンポーネント名です。
- *version* は、ソフトウェアのバージョン番号です。
- *distribution* は、el4、el5、el6、ovm3、sl10、または s11 のいずれかです。
- *architecture* は i386 (32 ビット) または x86\_64 (64 ビット) のいずれかです。

たとえば、Oracle Enterprise Linux 5 32 ビット版の場合、Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 CLI ツールのファイル名は次のとおりです。

oracle-hmp-tools-2.2.1-1.el5.i386.rpm

## ▼ コンポーネントを **Linux** サーバーにインストールする方法

- 始める前に
- Hardware Management Pack コンポーネントを手動でインストールするには、root 権限でシステムにログインする必要があります。
  - Hardware Management Pack をダウンロードして展開します。20 ページの「ソフトウェアの入手」を参照してください。

この手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extract-directory* と記載します。

- インストールを正常に行うには、Hardware Management Pack のパッケージの依存関係を満たす必要があります。詳細は、71 ページの「ソフトウェアの依存関係」を参照してください。
  - システムに、QLogic、Emulex、または Mellanox のテクノロジーを使用するアダプタが組み込まれている場合、Hardware Management Pack に付属の適切なサードパーティーユーティリティをインストールする必要があります。56 ページの「Linux で使用可能なパッケージ」を参照してください。
  - これらの説明は Oracle VM にも適用されます。
- 1 **ipmitool** または **ipmiflash** のみをインストールする場合は、次の手順を参照してください。その他の Hardware Management Pack コンポーネントもインストールする場合は、手順 3 に進みます。

- **ipmiflash** をインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -i /extraction-directory/packages/ipmiflash*.rpm
```

- **ipmitool** をインストールするには、次のコマンドを実行します。

```
rpm -i /extraction-directory/packages/ipmitool*.rpm
```

例:

```
rpm -i extraction-directory/packages/ipmi*.rpm
```

デフォルトでは、インストール後に出力は開きません。

- 2 インストールする Hardware Management Pack コンポーネントを決定します。

インストールできるパッケージの概要については、56 ページの「Linux で使用可能なパッケージ」を参照してください。

---

注 - すべてのパッケージで **oracle-hmp-libs** を一緒にインストールする必要があります。 **oracle-hmp-snmp** をインストールする場合は、**oracle-hmp-hwmgmt** もインストールする必要があります。

---

- 3 次のコマンドを使用してパッケージをインストールします。

```
rpm -i /extraction-directory/packages/  
oracle-hmp-libs*.rpm additional components
```

たとえば、Hardware Management Agent と SNMP Plugins のみをインストールするには、次のようにします。

```
rpm -i /extraction-directory/packages/oracle-hmp-libs*.rpm  
/extraction-directory/packages/oracle-hmp-hwmgmt*.rpm  
/extraction-directory/packages/oracle-hmp-snmp*.rpm
```

デフォルトでは、出力は開きません。

## ▼ コンポーネントを **Linux** サーバーからアンインストールする方法

- 1 アンインストールするコンポーネントを決定します。

アンインストールできるパッケージの概要については、[56 ページの「Linux で使用可能なパッケージ」](#)を参照してください。

---

注-oracle-hmp-libs は、その他すべてのパッケージのアンインストール後にアンインストールする必要があります。oracle-hmp-snmp をアンインストールする場合は、oracle-hmp-hwmgmt もアンインストールする必要があります。

---

- 2 次のコマンドを実行します。

```
rpm -e package name(s)
```

たとえば、ハードウェアエージェントと SNMP Plugins を削除するには、次のようにします。

```
rpm -e oracle-hmp-snmp oracle-hmp-hwmgmt
```

デフォルトでは、出力は開きません。

## ▼ インストール後にソフトウェアを構成する方法

- 構成する機能に適したコマンドを実行します。
  - **oracle-hmp-hwmgmt** をインストールした場合は、次のコマンドを使用して **Hardware Management Agent** を有効にし、起動します。

```
/sbin/chkconfig hwmg/usr/bmtd on
```

```
/sbin/service hwmgmtd start
```
  - **oracle-hmp-snmp** をインストールした場合は、次のコマンドを使用して **SNMP デーモン** を有効にし、起動します。
    - a. **SNMP** デーモンを有効にするには、次のコマンドを実行します。

```
/sbin/chkconfig snmpd on
```

- b. デーモンが実行中かどうかを判別するには、次のコマンドを実行します。

```
/sbin/service snmpd status
```

- **snmpd** が実行中の場合は、次のコマンドを入力して再起動します。

```
/sbin/service snmpd restart
```

- **snmpd** が実行中でない場合は、次のコマンドを入力して起動します。

```
/sbin/service snmpd start
```

- **oracle-hmp-tools** をインストールした場合は、次の手順を使用してホストと **ILOM** の相互接続を有効にします。

- a. 次のコマンドを使用して、システムサービスプロセッサでこの機能がサポートされていることを確認します。

```
/usr/sbin/ilonconfig list interconnect
```

SUBCOMMAND NOT SUPPORTED が開いた場合、この機能はサービスプロセッサでサポートされていません。

- b. 次のいずれかを実行します。

- 相互接続を自動的に有効にする場合は、次のコマンドを使用します。

```
/usr/sbin/ilonconfig enable interconnect
```

これは、相互接続を構成するための優先される方法です。

- 相互接続を手動で有効にする場合は、次のコマンドを使用します。

```
/usr/sbin/ilonconfig enable interconnect --ipaddress=x.x.x.x  
--netmask=x.x.x.x --hostipaddress=x.x.x.x
```

- **oracle-hmp-tools** をインストールした場合は、**IPMI** ドライバがまだ実行されていなければ起動します。

- a. 次のコマンドを実行して、**IPMItool** が実行中かどうかを確認します。

```
/sbin/service ipmi status
```

- b. **IPMItool** が実行中でない場合は、次のコマンドを入力して起動します。

```
/etc/init.d/ipmi start
```

# Windows サーバーでのコンポーネントの手動インストールおよびアンインストール

このセクションでは、次の手順について説明します。

- 61 ページの「Windows で使用可能なパッケージ」
- 62 ページの「コンポーネントを Windows サーバーにインストールする方法」
- 63 ページの「コンポーネントを Windows サーバーからアンインストールする方法」
- 64 ページの「インストール後にソフトウェアを構成する方法」

## Windows で使用可能なパッケージ

Hardware Management Pack のダウンロードには、手動でコンポーネントをインストールするために使用できるパッケージが含まれています。次のリストに、これらのパッケージの名前の概要を示します。

- hmp-libs - Oracle Hardware Management Pack に必要なライブラリ。
- hmp-snmp - Oracle Server Hardware SNMP Plugins。
- hmp-agents - Oracle Server Hardware Management Agents。
- hmp-tools - Oracle Server CLI ツール。
- hmp-tools-biosconfig - Oracle Server CLI ツール biosconfig。
- hmp-tools-ubiosconfig - Oracle Server CLI ツール ubiosconfig。UEFI BIOS が搭載されたサーバーのみと互換性があり、Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部です。
- ipmiflash - IPMIflash ユーティリティ。
- ipmitool - IPMItool ユーティリティ。
- elxocmcore - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、Emulex ファイバチャネルのサポートおよびドライバ。
- scli - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である QLogic ファイバチャネルホストバスアダプタのコマンド行インタフェース。
- mstflint - Hardware Management Pack バージョン 2.2.1 以降の一部である、Mellanox InfiniBand ホストチャネルアダプタのファームウェア書き込みおよび診断ツール。

## ▼ コンポーネントを Windows サーバーにインストールする方法

始める前に

- Windows Server 2003 SP2 以前では、ISM ドライバをインストールする必要があります。65 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール」を参照してください。

- Windows Server 2003 R2 以降用の Microsoft IPMI ドライバについては、[http://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa391402\(VS.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa391402(VS.85).aspx) を参照してください。

- SNMP サービス (SNMP エージェントをインストールする場合)。詳細は、[http://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa379100\(VS.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/en-us/library/aa379100(VS.85).aspx) を参照してください。

- システムに、QLogic、Emulex、または Mellanox のテクノロジーを使用するアダプタが組み込まれている場合、Hardware Management Pack に付属の適切なサードパーティーユーティリティをインストールする必要があります。61 ページの「Windows で使用可能なパッケージ」を参照してください。

### 1 Hardware Management Pack をダウンロードして展開します。

以降の手順では、ファイルを展開するディレクトリを *extraction-directory* と記載します。

### 2 ipmitool または ipmiflash のみをインストールする場合は、次の手順を参照してください。その他の Hardware Management Pack コンポーネントもインストールする場合は、手順 4 に進みます。

- **ipmiflash** をインストールするには、次の手順を実行します。

a. 次のコマンドを実行します。

```
C:\> msixexec /i \extraction-directory\package\ipmiflash*.msi
```

インストール GUI が開きます。

b. 各インストール画面をクリックして進み、**ipmiflash** をインストールします。

- **ipmitool** をインストールするには、次の手順を実行します。

a. 次のコマンドを実行します。

```
C:\> msixexec /i \extraction-directory\packages\ipmitool*.msi
```

b. 各インストール画面をクリックして進み、**ipmitool** をインストールします。

### 3 インストールする Hardware Management Pack コンポーネントを決定します。 61 ページの「Windows で使用可能なパッケージ」を参照してください。

---

注 - すべての oracle-hmp パッケージで oracle-hmp-libs を一緒にインストールする必要があります。

---

- 4 パッケージをインストールするには、次のコマンドを使用します。

```
C:\>msiexec /i \extraction-directory\packages\oracle-hmp-libs*msi
```

```
C:\>msiexec /i \extraction-directory\packages\other components
```

- 5 たとえば、**Hardware Management Agent** と **SNMP Plugins** のみをインストールするには、次のようにします。

```
C:\>msiexec /i \extraction-directory\packages\oracle-hmp-libs*msi
```

```
C:\>msiexec /i \extraction-directory\packages\oracle-hmp-agents*msi
```

インストールするよう選択したパッケージ用の GUI インストール画面が表示されます。

- 6 パッケージをインストールするには、各インストール画面をクリックして進みます。

## ▼ コンポーネントを **Windows** サーバーからアンインストールする方法

- 1 アンインストールするコンポーネントを決定します。61 ページの「[Windows で使用可能なパッケージ](#)」を参照してください。

- 2 次のコマンドを実行します。

```
msiexec /x \extraction-directory\packages\package name(s)
```

たとえば、ハードウェアエージェントと SNMP Plugins を削除するには、次のようにします。

```
msiexec /x \extraction-directory\packages\oracle-hmp-agents*msi
```

アンインストール GUI が開きます。

- 3 パッケージをアンインストールするには、各アンインストール画面をクリックして進みます。

## ▼ インストール後にソフトウェアを構成する方法

- 構成する機能に適したコマンドを実行します。
  - **oracle-hmp-hwmgmt** をインストールした場合は、次のコマンドを使用して **Hardware Management Agent** を起動します。

```
C:\>net start "Oracle Server Hardware Management Agent"
```
  - **oracle-hmp-snmp** をインストールした場合は、次のコマンドを使用して **SNMP** デーモンを起動します。

```
C:\> net stop SNMP
```

```
C:\> net start SNMP
```
  - **oracle-hmp-tools** をインストールした場合は、次の手順を使用してホストと **ILOM** の相互接続を有効にします。
    - a. 次のコマンドを使用して、システムサービスプロセッサでこの機能がサポートされていることを確認します。

```
C:\> ProgramFiles(x86)\Oracle\Oracle Hardware Management Pack\bin\ilomconfig list interconnect
```

SUBCOMMAND NOT SUPPORTED が開いた場合、この機能はサービスプロセッサでサポートされていません。
    - b. **RNDIS** ドライバをインストールします。
      - 32 ビットシステムの場合:

```
C:\> \extraction-directory\drivers\rndis\32\installrndis ..\USB2SP.INF
```
      - 64 ビットシステムの場合:

```
C:\> \extraction-directory\drivers\rndis\64\installrndis\ ..\USB2SP.INF
```
    - c. 次のいずれかを実行します。
      - 相互接続を自動的に有効にする場合は、次のコマンドを使用します。

```
C:\> ProgramFiles(x86)\Oracle\Oracle Hardware Management Pack\bin\ilomconfig enable interconnect
```

これは、相互接続を構成するための優先される方法です。
      - 相互接続を手動で有効にする場合は、次のコマンドを使用します。

```
C:\> ProgramFiles(x86)\Oracle\Oracle Hardware Management Pack\bin\ilomconfig enable interconnect --ipaddress=x.x.x.x  
--netmask=x.x.x.x --hostipaddress=x.x.x.x
```



# ドライバの手動インストール

---

このセクションでは、ドライバを手動でインストールして、IPMItool およびホストと ILOM の相互接続機能を有効にする方法について説明します。

このセクションは、次のトピックで構成されています。

- 65 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール」
- 68 ページの「ホストと ILOM の相互接続ドライバのインストール」

## Sun IPMI System Management Driver 2.1 のインストール

---

注 - このドライバが必要かどうかを判断するには、19 ページの「Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用したコンポーネントのインストール」の OS サポート表を参照してください。

---

Sun IPMI System Management Driver 2.1 を使用すると、内部のキーボードコントローラスタイル (Keyboard Controller Style、KCS) インタフェースを介して、Microsoft Windows ホストオペレーティングシステムと Oracle ILOM サービスプロセッサの間で通信を行えます。このドライバは、Microsoft Windows Server 2003 SP2 以前で必要です。

それよりあとの OS バージョン (Microsoft Windows Server 2003 R2 を含む) では、OS のハードウェア管理モジュールに含まれる Microsoft 製の IPMI ドライバが同じ機能を提供します。

このセクションでは、次の手順について説明します。

- 66 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 を手動でインストールする方法」
- 67 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 の無人インストールを実行する方法」
- 68 ページの「ipmitool のインストールを確認する方法」
- 68 ページの「Sun IPMI System Management Driver 2.1 をアンインストールする方法」

## ▼ Sun IPMI System Management Driver 2.1 を手動でインストールする方法

Sun IPMI System Management Driver 2.1 は、ダウンロードした Hardware Management Pack の drivers ディレクトリにあります。Microsoft Windows Server 2003 SP2 以前に対して Sun IPMI System Management Driver 2.1 をインストールするには、次の手順に従います。

- 1 次のようにして、このドライバの前のバージョンをアンインストールします。
  - a. 「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
  - b. 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。
  - c. 「システムデバイス」セクションを展開します。
  - d. 「SUN IPMI System Management Driver」を探し、この項目を右クリックします。
  - e. 「アンインストール」を選択し、削除を確認します。
- 2 「コントロールパネル」を開き、「ハードウェアの追加」を選択します。
- 3 「次へ」をクリックします。
- 4 「はい、ハードウェアを接続しています」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 5 表示された一覧から「新しいハードウェアデバイスの追加」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6 「一覧から選択したハードウェアをインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 7 「システムデバイス」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 **ism.inf** ファイルが格納されているファイルシステムの場所を指定するには、「ディスク使用」タブをクリックします。
- 9 *extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism* ディレクトリに移動し、オペレーティングシステムに応じて **32** ビットまたは **64** ビットのドライバを選択します。
- 10 「OK」をクリックし、ドライバをインストールします。

## ▼ Sun IPMI System Management Driver 2.1 の無人インストールを実行する方法

このセクションでは、Microsoft Windows Server 2003 SP2 以前に対して Sun IPMI System Management Driver 2.1 の無人 (ユーザーの操作を必要としない) インストールを実行する方法について説明します。Sun IPMI System Management Driver 2.1 は、ダウンロードした Hardware Management Pack の drivers ディレクトリにあります。

- 1 正しい `ism.if` ファイルが格納されているディレクトリに移動します。

- 32 ビットドライバの場合:

```
cd \extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism\32
```

- 64 ビットドライバの場合:

```
cd \extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism\64
```

- 2 管理者のコマンドシェル (DOS) から、次のコマンドを実行します。

```
isminst load ism.inf *ism
```

署名されていないドライバのインストールを確認する画面が開く場合があります。



- 3 「はい」 をクリックし、ドライバをインストールします。

## ▼ ipmitool のインストールを確認する方法

- 1 正しい `ism.if` ファイルが格納されているディレクトリに移動します。

- 32 ビットドライバの場合:

```
cd \extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism\32
```

- 64 ビットドライバの場合:

```
cd \extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism\64
```

- 2 ステータスを取得するには、次のコマンドを実行します。

```
isminst.exe status *ism
```

次の出力が表示されます。

```
ROOT\SYSTEM\0003: SUN IPMI System Management Driver v2.3    Driver is running.
```

ドライバが実行されていない場合は、次の出力が表示されます。

```
No matching devices found.
```

## ▼ Sun IPMI System Management Driver 2.1 をアンインストールする方法

- 1 正しい `ism.if` ファイルが格納されているディレクトリに移動します。

- 32 ビットドライバの場合:

```
cd \extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism\32
```

- 64 ビットドライバの場合:

```
cd \extraction-directory\oracle-hmp-version\drivers\ism\64
```

- 2 次のコマンドを実行します。

```
isminst remove *ism
```

## ホストと ILOM の相互接続ドライバのインストール

このセクションで説明するドライバは、Windows システムまたは Oracle Solaris OS 10 10/09 システムで `ilomconfig` を使用してホストと ILOM の相互接続を手動で構成する場合、または ILOM インタフェースを使用してローカルホスト相互接続を手動で構成する場合にインストールする必要があります。

次の場合は、このドライバをインストールする必要はありません。

- 19 ページの「Oracle Hardware Management Pack インストーラを使用したコンポーネントのインストール」の手順を使用して Oracle Hardware Management Pack をインストールし、インストール中にホストと ILOM の相互接続を有効にした場合。
- 49 ページの「コンポーネントの手動インストール」の手動による手順を使用して Oracle Hardware Management Pack をインストールし、ホストと ILOM の相互接続機能をインストールするように選択した場合。
- Linux オペレーティングシステム、または Oracle Solaris OS 10 10/09 以外のバージョンの Solaris を実行している場合 (Oracle Solaris OS 10 9/10 にはドライバが付属していますが、Oracle Solaris OS 10 5/09 ではこの機能はサポートされていません)。

このセクションでは、次の手順について説明します。

- 69 ページの「ホストと ILOM の相互接続ドライバを Oracle Solaris サーバーにインストールする方法」
- 70 ページの「ホストと ILOM の相互接続ドライバを Oracle Solaris サーバーからアンインストールする方法」
- 70 ページの「セキュリティー証明書を Windows サーバーでインポートする方法」
- 70 ページの「ホストと ILOM の相互接続ドライバを Windows サーバーにインストールする方法」

## ▼ ホストと ILOM の相互接続ドライバを Oracle Solaris サーバーにインストールする方法

- 1 次のコマンドを使用して、システムで Oracle Solaris OS 10 10/09 が実行されていることを確認します。

```
cat /etc/release
```

- 2 Management Pack ディストリビューションの `package` ディレクトリに移動します。

```
cd /extraction-directory/oracle-hmp-version/package
```

- 3 次のコマンドを使用して、ドライバをインストールします。

```
pkgadd -d .ORCLhmp-drvs
```

## ▼ ホストと ILOM の相互接続ドライバを Oracle Solaris サーバーからアンインストールする方法

- 1 Management Pack ディストリビューションの `package` ディレクトリに移動します。

```
cd /extraction-directory/oracle-hmp-version/package
```

- 2 次のコマンドを使用して、ドライバをアンインストールします。

```
pkgrm ORCLhmp-drvs
```

## ▼ セキュリティー証明書を Windows サーバーでインポートする方法

セキュリティー証明書によって、ホストと ILOM の相互接続ドライバを Windows サーバーで確実にインストールして有効にできます。セキュリティー証明書がインポートされていない場合、インストール中に署名されていないドライバのエラーが表示されます。この署名されていないドライバのエラーによって、コンソールモードを使用して Management Pack をインストールできないことがあります。

- 次のコマンドを実行します。

```
certutil -f -addstore TrustedPublisher extraction-directory\drivers\rndis\USB2SP.CAT
```

## ▼ ホストと ILOM の相互接続ドライバを Windows サーバーにインストールする方法

ホストと ILOM の相互接続ドライバをコンソールモードで Windows サーバーにインストールする前に、セキュリティー証明書をインストールする必要があります。

- Windows のアーキテクチャーに応じて、次のいずれかのコマンドを実行します。

- 32 ビットシステムの場合:

```
\extraction-directory\drivers\rndis\32\installrndis ..\USB2SP.INF
```

- 64 ビットシステムの場合:

```
\extraction-directory\drivers\rndis\64\installrndis\ ..\USB2SP.INF
```

ドライバが署名されていないという警告が表示されることがありますが、これは無視できます。

# ソフトウェアの依存関係

---

このセクションには、サポートされる各オペレーティングシステムにおける Hardware Management Pack コンポーネントのソフトウェアの依存関係に関する詳細が記載されています。コンポーネントをインストールする前に、これらの依存関係を満たす必要があります。パッケージのインストールの詳細は、オペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

## コンポーネントパッケージの依存関係

次の表に、Oracle Solaris 10 が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                     | 依存関係                                                                                               |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ipmiflash                   | SUNWcslr SUNWopenssl-libraries SUNWcry SUNWlibmsr SUNWzlib                                         |
| ipmitool                    | SUNWlibmsr SUNWcslr SUNWopenssl-libraries SUNWcry                                                  |
| ORCLhmp-hwmgmt              | SUNWcslr SUNWgccruntime SUNWlibmsr SUNWlxml<br>SUNWopenssl-libraries SUNWzlib SUNWcry ORCLhmp-libs |
| ORCLhmp-libs                | SUNWcslr SUNWgccruntime SUNWlibmsr SUNWopenssl-libraries<br>SUNWlxml SUNWzlib SUNWcry              |
| ORCLhmp-snmpr               | SUNWlibmsr SUNWcslr SUNWgccruntime ORCLhmp-hwmgmt                                                  |
| ORCLhmp-tools               | SUNWopenssl-libraries SUNWlxml SUNWlibmsr SUNWcslr<br>SUNWgccruntime SUNWzlib SUNWcry ORCLhmp-libs |
| ORCLhmp-tools-biosconfig    | SUNWcsl SUNWcslr SUNWlibmsr                                                                        |
| ORCLhmp-tools-ubiosconfig   | SUNWlxml SUNWlibmsr SUNWcslr SUNWopenssl-libraries SUNWzlib<br>SUNWcry<br>ORCLhmp-libs             |
| QConvergeConsoleCLI (x86)   | SUNWcfc1 SUNWcsl SUNWcslr SUNWcsr SUNWdpl SUNWlibms SUNWlibmsr                                     |
| QConvergeConsoleCLI (SPARC) | SUNWbcp SUNWcfc1 SUNWcsl SUNWcslr SUNWcsr SUNWdpl SUNWlibms<br>SUNWlibmsr                          |

| コンポーネント    | 依存関係                         |
|------------|------------------------------|
| ELXocmcore | SUNWcslr SUNWcfcl SUNWlibmsr |

次の表に、Oracle Solaris 11 が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                     | 依存関係                                                                           |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| ipmitool                    | math openssl                                                                   |
| hmp-ipmiflash               | library openssl math                                                           |
| hmp-libs                    | library linker math gcc-45-runtime openssl libxml2 hmp-libs zlib gcc-3-runtime |
| hmp-hwmgmt                  | hmp-libs library gcc-45-runtime math libxml2 linker openssl zlib               |
| hmp-snmp                    | hmp-libs hmp-hwmgmt math gcc-45-runtime net-snmp                               |
| hmp-tools                   | hmp-libs                                                                       |
| hmp-tools-biosconfig        | hmp-libs xsvc gcc-45-runtime                                                   |
| hmp-tools-ubiosconfig       | hmp-libs                                                                       |
| QConvergeConsoleCLI (x86)   | library math snia-hbaapi linker                                                |
| QConvergeConsoleCLI (SPARC) | profiled-libc SUNWcs library math hbaapi                                       |

次の表に、Oracle Unbreakable Linux 4.x または Red Hat Enterprise Linux 4.x が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント           | 依存関係                                                                   |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------|
| ipmiflash         | e2fsprogs glibc krb5-libs zlib                                         |
| ipmitool          | e2fsprogs glibc krb5-libs ncurses readline zlib                        |
| mstflint          | libgcc glibc libstdc++ zlib                                            |
| oracle-hmp-hwmgmt | glibc libxml2 zlib e2fsprogs libaio krb5-libs net-snmp oracle-hmp-libs |
| oracle-hmp-snmp   | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt                                       |
| oracle-hmp-tools  | e2fsprogs glibc libaio krb5-libs libxml2 zlib oracle-hmp-libs          |



| コンポーネント                      | 依存関係                                                                       |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| oracle-hmp-tools-biosconfig  | glibc                                                                      |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig | e2fsprogs glibc libaio krb5-libs libxml2 zlib oracle-hmp-libs              |
| oracle-hmp-libs              | glibc zlib libaio e2fsprogs krb5-libs libxml2 libgcc libstdc++<br>OpenIPMI |

次の表に、Oracle Enterprise Linux 5.x または Red Hat Enterprise Linux 5.x が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                          | 依存関係                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| elxocmcore                       | glibc libnl elxocmcore libgcc libhbaapi-devel libstdc++ openssl<br>libselinux libsepol tcp_wrappers bzip2-libs elfutils-libelf<br>net-snmp-libs nspr popt rpm-libs lm_sensors sqlite libsysfs<br>zlib perl e2fsprogs-libs keyutils-libs krb5-libs |
| ipmiflash                        | openssl glibc zlib                                                                                                                                                                                                                                |
| ipmitool                         | openssl glibc ncurses readline zlib                                                                                                                                                                                                               |
| mstflint                         | glibc libgcc libstdc++ zlib                                                                                                                                                                                                                       |
| oracle-hmp-hwmgmt                | glibc openssl libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                                 |
| oracle-hmp-libs                  | glibc zlib libaio openssl libxml2 libgcc libstdc++ OpenIPMI                                                                                                                                                                                       |
| oracle-hmp-snmp                  | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt                                                                                                                                                                                                                  |
| oracle-hmp-tools                 | openssl glibc libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                                 |
| oracle-hmp-tools-biosconfig      | glibc                                                                                                                                                                                                                                             |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig     | openssl glibc libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                                 |
| QConvergeConsoleCLI (32<br>ビット版) | glibc libhbaapi-devel                                                                                                                                                                                                                             |
| QConvergeConsoleCLI (64<br>ビット版) | glibc e2fsprogs-libs libgcc keyutils-libs libselinux libsepol<br>libhbaapi-devel krb5-libs libstdc++                                                                                                                                              |

次の表に、Oracle Linux 6.x または Red Hat Enterprise Linux 6.x が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                          | 依存関係                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| elxocmcore                       | glibc libnl libgcc libhbaapi-devel libstdc++ libacl libattr<br>bzip2-libs libcap db4 nss-softokn-freebl nspr popt libselinux<br>tcp_wrappers-libs zlib openssl elfutils-libelf lua xz-libs<br>net-snmp-libs nss-util rpm-libs lm_sensors-libs perl-libs |
| ipmiflash                        | glibc zlib openssl                                                                                                                                                                                                                                      |
| ipmitool                         | glibc ncurses-libs readline zlib openssl                                                                                                                                                                                                                |
| mstflint                         | glibc libgcc zlib libstdc++                                                                                                                                                                                                                             |
| oracle-hmp-hwmgmt                | glibc zlib libxml2 libaio openssl oracle-hmp-libs<br>policycoreutils policycoreutils-python                                                                                                                                                             |
| oracle-hmp-libs                  | glibc zlib libaio openssl libxml2 libgcc libstdc++ OpenIPMI                                                                                                                                                                                             |
| oracle-hmp-snmp                  | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt                                                                                                                                                                                                                        |
| oracle-hmp-tools                 | libaio glibc zlib openssl libxml2 oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                                       |
| oracle-hmp-tools-biosconfig      | glibc                                                                                                                                                                                                                                                   |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig     | libaio glibc zlib openssl libxml2                                                                                                                                                                                                                       |
| QConvergeConsoleCLI (32<br>ビット版) | glibc nss-softokn-freebl                                                                                                                                                                                                                                |
| QConvergeConsoleCLI (64<br>ビット版) | glibc libcom_err nss-softokn-freebl libgcc krb5-libs<br>keyutils-libs libselinux libstdc++                                                                                                                                                              |

次の表に、Oracle VM 3.0.2 または Oracle VM 3.1.1 が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント           | 依存関係                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| elxocmcore        | glibc libnl elxocmcore libgcc libhbaapi-devel libstdc++ openssl<br>libselinux libsepol tcp_wrappers bzip2-libs elfutils-libelf<br>net-snmp-libs nspr popt rpm-libs lm_sensors sqlite libsysfs<br>zlib perl e2fsprogs-libs keyutils-libs krb5-libs |
| ipmiflash         | openssl glibc zlib                                                                                                                                                                                                                                |
| ipmitool          | openssl glibc ncurses readline zlib                                                                                                                                                                                                               |
| mstflint          | glibc libgcc libstdc++ zlib                                                                                                                                                                                                                       |
| oracle-hmp-hwmgmt | glibc openssl libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs lm_sensors<br>net-snmp net-snmp-libs perl                                                                                                                                                       |
| oracle-hmp-snmp   | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt lm_sensors net-snmp<br>net-snmp-libs perl                                                                                                                                                                        |

| コンポーネント                      | 依存関係                                                                              |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| oracle-hmp-libs              | glibc zlib libaio openssl libxml2 libgcc libstdc++                                |
| oracle-hmp-tools             | openssl glibc libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                 |
| oracle-hmp-tools-biosconfig  | glibc                                                                             |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig | openssl glibc libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                 |
| QConvergeConsoleCLI          | glibc e2fsprogs-libs libgcc keyutils-libs libselinux libsepol krb5-libs libstdc++ |

注- 必須の `lm_sensors`、`net-snmp`、`net-snmp-libs`、および `perl` パッケージは、Oracle Linux 5 x86 64 のインストールメディアから入手可能です。

次の表に、Oracle VM 3.2.1 が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                      | 依存関係                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| elxocmcore                   | glibc libnl elxocmcore libgcc libhbaapi-devel libstdc++ openssl libselinux libsepol tcp_wrappers bzip2-libs elfutils-libelf net-snmp-libs nspr popt rpm-libs lm_sensors sqlite libsysfs zlib perl e2fsprogs-libs keyutils-libs krb5-libs |
| ipmiflash                    | openssl glibc zlib                                                                                                                                                                                                                       |
| ipmitool                     | openssl glibc ncurses readline zlib                                                                                                                                                                                                      |
| mstflint                     | glibc libgcc libstdc++ zlib                                                                                                                                                                                                              |
| oracle-hmp-hwmgmt            | glibc openssl libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                        |
| oracle-hmp-snmp              | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt                                                                                                                                                                                                         |
| oracle-hmp-libs              | glibc zlib libaio openssl libxml2 libgcc libstdc++                                                                                                                                                                                       |
| oracle-hmp-tools             | openssl glibc libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                        |
| oracle-hmp-tools-biosconfig  | glibc                                                                                                                                                                                                                                    |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig | openssl glibc libaio libxml2 zlib oracle-hmp-libs                                                                                                                                                                                        |
| QConvergeConsoleCLI          | glibc e2fsprogs-libs libgcc keyutils-libs libselinux libsepol krb5-libs libstdc++                                                                                                                                                        |

次の表に、SUSE Linux Enterprise Server 10.x が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                      | 依存関係                                                        |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ipmiflash                    | glibc openssl                                               |
| ipmitool                     | glibc ncurses readline openssl                              |
| oracle-hmp-hwmgmt            | glibc zlib libxml2 libaio openssl oracle-hmp-libs           |
| oracle-hmp-libs              | glibc libaio zlib openssl libxml2 libgcc libstdc++ OpenIPMI |
| oracle-hmp-snmpp             | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt                            |
| oracle-hmp-tools             | glibc zlib libaio openssl libxml2 oracle-hmp-libs           |
| oracle-hmp-tools-biosconfig  | glibc                                                       |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig | glibc zlib libaio openssl libxml2 oracle-hmp-libs           |
| QConvergeConsoleCLI          | glibc libcom_err libgcc krb5 libstdc++                      |

次の表に、SUSE Linux Enterprise Server 11.x が稼働するサーバーでの Hardware Management Pack コンポーネントのパッケージの依存関係を示します。

| コンポーネント                      | 依存関係                                                                    |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ipmiflash                    | glibc zlib libopenssl0_9_8                                              |
| ipmitool                     | glibc libncurses5 libreadline5 zlib libopenssl0_9_8                     |
| oracle-hmp-hwmgmt            | glibc zlib libxml2 libaio libopenssl0_9_8 oracle-hmp-libs               |
| oracle-hmp-libs              | glibc libaio zlib libopenssl0_9_8 libxml2 libgcc43 libstdc++43 OpenIPMI |
| oracle-hmp-snmpp             | glibc net-snmp oracle-hmp-hwmgmt                                        |
| oracle-hmp-tools             | libaio glibc zlib libopenssl0_9_8 libxml2 oracle-hmp-libs               |
| oracle-hmp-tools-biosconfig  | glibc                                                                   |
| oracle-hmp-tools-ubiosconfig | libaio glibc zlib libopenssl0_9_8 libxml2 oracle-hmp-libs               |
| QConvergeConsoleCLI          | glibc libcom_err2 libgcc43 keyutils-libs krb5 libstdc++43               |

# 索引

---

## G

GUIモードでのアンインストール, 33-37  
GUIモードでのインストール, 25-33

## I

IPMIflash, 概要, 12  
IPMItool, 概要, 12  
ipmitool ドライバ  
    インストールの確認, 68  
    手動アンインストール, 68  
    手動インストール, 66  
    手動による無人インストール, 67

## L

Linux OS  
    インストール後のソフトウェアの構成, 59-60  
    手動アンインストール, 59  
    手動インストール, 57-59

## O

Oracle Server Hardware Management Agent, 概要, 10  
Oracle Server Hardware SNMP Plugins, 11  
    概要, 10  
Oracle Server Management Agents, 概要, 10  
Oracle Solaris 10 OS  
    手動アンインストール, 52-53  
    手動インストール, 51-52

Oracle Solaris 11 OS

    手動アンインストール, 55  
    手動インストール, 54

Oracle Solaris OS, インストール後のソフトウェア  
の構成, 55-56

Oracle Server CLI ツール, 概要, 12

Oracle Solaris の手動アンインストール, 49

Oracle Solaris の手動インストール, 49

## S

SNMP, 10  
Storage Management Agent, 10  
sunHwMonMIB, 概要, 11  
sunHwTrapMIB, 概要, 11  
sunStorageMIB, 概要, 11

## W

Windows OS  
    インストール後のソフトウェアの構成, 64  
    手動アンインストール, 63  
    手動インストール, 62-63

## あ

アンインストール  
    Hardware Management Pack  
        GUIモードを使用, 33-37  
        コンソールモードを使用, 43-44

- アンインストール, Hardware Management Pack (続き)  
    サイレントモードを使用, 47
- い
- 依存関係, 71-76
- インストーラ  
    前提条件, 21  
    ソフトウェアの入手, 20
- インストール  
    Hardware Management Pack  
        GUI モードを使用, 25-33  
        コンソールモードを使用, 38-42  
        サイレントモードを使用, 45-46
- インストールの確認, ipmitool ドライバ, 68
- インストールの前提条件, 21
- 手動アンインストール  
    Linux OS, 59  
    Oracle Solaris 10 OS, 52-53  
    Oracle Solaris 11 OS, 55  
    Windows OS, 63
- 手動インストール  
    Linux OS, 57-59  
    Oracle Solaris 10 OS, 51-52  
    Oracle Solaris 11 OS, 54  
    Windows OS, 62-63
- 手動インストール後のソフトウェアの構成  
    Linux OS, 59-60  
    Solaris OS, 55-56  
    Windows OS, 64
- 障害トラッププロキシ, 29
- 使用可能なパッケージ  
    Linux, 56  
    Oracle Solaris 10, 50  
    Oracle Solaris 11, 53  
    Windows, 61
- か
- 概要  
    Oracle Server Hardware Management Agent, 10  
    Oracle Server Hardware SNMP Plugins, 10
- こ
- コンソールモードでのアンインストール, 43-44
- コンソールモードでのインストール, 38-42
- さ
- サイレントモードでのアンインストール, 47
- サイレントモードでのインストール, 45-46
- サイレントモードでのインストールオプション, 44
- し
- システムイベントログ, 10
- と
- ドキュメントのリンク, 5
- ふ
- フィードバック, 5
- ほ
- ホストと ILOM の相互接続  
    ILOM へのアクセス, 15  
    構成オプション, 16  
    自動構成, 16  
    手動アンインストール  
        Solaris OS, 70  
    手動インストール  
        Solaris OS, 69  
        Windows OS, 70  
    手動構成, 16  
    有効化, 15-17

---

ろ

ローカル相互接続, 「ホストとILOMの相互接続」を参照

